

平成28年度「総合的な教師力向上のための調査研究事業」  
成果報告書

# 山口県における教師塾 及び スクールリーダーの育成について

本報告書は、文部科学省の初等中等教育等振興事業委託費による委託事業として、山口県教育委員会が実施した平成28年度「総合的な教師力向上のための調査研究事業」の成果を取りまとめたものです。

したがって、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。

平成29年3月  
山口県教育委員会

本県では現在、教育の直接の担い手である教職員の大量退職期を迎えており、今後10年間で現在の教職員の約45%が退職します。子どもたちを巡る様々な教育課題に的確に対応し、新しい教育目標の実現に向け、活力ある学校づくりを進めるため、実践的指導力を有する教員志望者を養成するとともに、一人ひとりの教職員がそれぞれの資質能力をさらに高め、これを組織の力につなげて組織的な学校運営することのできるスクールリーダーの育成を図ることが喫緊の課題となっています。

このため、平成28年度「総合的な教師力向上のための調査研究事業」を活用し、学校現場での経験・実践の積み重ね等を通して教員志願者の実践的指導力を育成する「山口県の教師塾」の取組及び、スクールリーダーとしての資質能力を養うとともに、その職務の重要性に関する理解を深め、学校を牽引する意欲を高める「スクールリーダー研修講座」の調査研究を行い、成果報告書としてまとめました。

## 目 次

### 【山口県における教師塾】

|   |                 |    |
|---|-----------------|----|
| 1 | 事業の実施日程         | 1  |
| 2 | 実践研究の全体像        | 2  |
| 3 | 山口県の教師塾         | 3  |
| 4 | 教師塾の改善・充実に向けた取組 | 10 |
| 5 | 教師塾を支える取組       | 15 |

### 【スクールリーダーの育成】

|   |                                  |    |
|---|----------------------------------|----|
| 1 | 事業の実施日程                          | 18 |
| 2 | 事業の実績の説明                         | 18 |
| 3 | スクールリーダー研修講座の改善・充実               | 19 |
| 4 | 研修講座実施                           | 21 |
| 5 | 研修講座の評価                          | 30 |
| 6 | 研修講座についての考察                      | 34 |
| 7 | スクールリーダー育成に向けた山口大学教職大学院等との連携の在り方 | 35 |
| 8 | 事業成果と課題                          | 36 |
| 9 | 事業成果を踏まえた今後の方向性                  | 36 |

# 【山口県における教師塾】

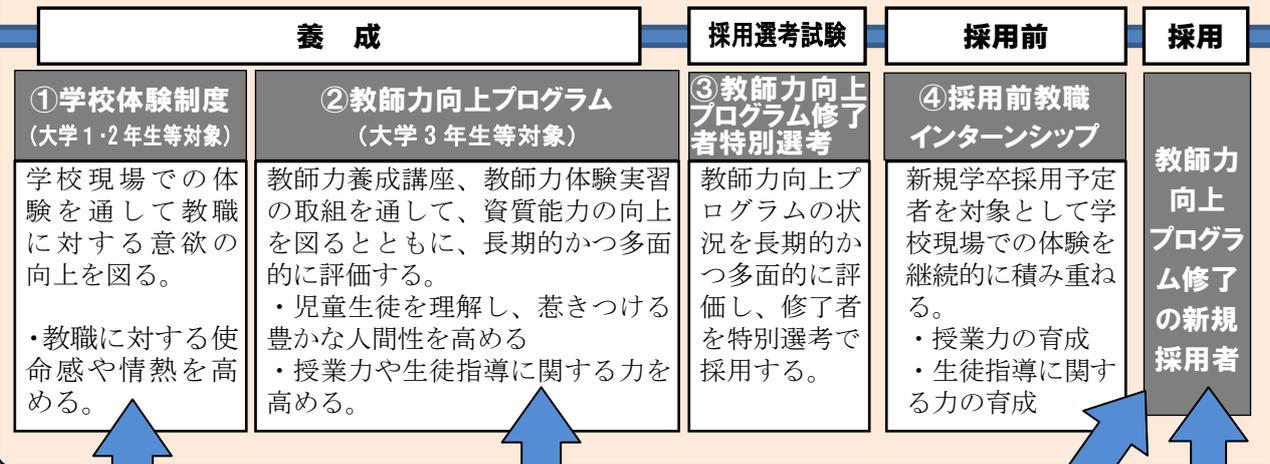
## 1 事業の実施日程

| 事業項目                                       | 実施日程 |                             |             |                   |    |             |                  |                          |                  |           |    |                     |         |
|--|------|-----------------------------|-------------|-------------------|----|-------------|------------------|--------------------------|------------------|-----------|----|---------------------|---------|
|  | 4月   | 5月                          | 6月          | 7月                | 8月 | 9月          | 10月              | 11月                      | 12月              | 1月        | 2月 | 3月                  |         |
| ①教員をめざす学生の<br>学校体験制度                       |      | 実施校打合せ<br>参加者募集<br>事前面接等    |             |                   |    |             | 実施<br>8/25~9/30  |                          |                  |           |    |                     | 〔協議会報告〕 |
| ②山口県教師力向上プ<br>ログラム                         |      | 〔県内大学・県教委・<br>市町教委の協議〕      |             | 要項発表<br>7/5       |    | 選抜試験<br>9/3 |                  | 講座・実習実施<br>10/29~2/25    |                  |           |    | 〔協議会報告〕             |         |
| ③山口県教師力向上プ<br>ログラム修了者特別<br>選考              |      | 要項発表<br>5/12                |             | 教員採用試験<br>第一次・第二次 |    |             | 合格発表<br>10/5     |                          |                  |           |    |                     |         |
| ④採用前教職インター<br>ンシップ                         |      | 〔県内大学・県教委・<br>市町教委の協議〕      |             |                   |    |             | 〔参加者募集<br>事前面接等〕 | 実施<br>11/4~2/28          |                  |           |    | 〔協議会報告〕             |         |
| ⑤山口県教師力向上プ<br>ログラム修了の新規<br>採用者による受講支<br>援  |      | 〔県教委・<br>市町教委<br>の協議〕       |             | 〔募集・委嘱〕           |    |             |                  | 受講者と修了<br>者の座談会<br>11/19 | 〔受講者の相談<br>への対応〕 |           |    |                     |         |
| ⑥山口県教師力向上プ<br>ログラム修了者を対<br>象としたアンケート<br>調査 |      |                             |             |                   |    |             |                  | 〔アンケート・分析〕               |                  |           |    | 〔協議会報告〕             |         |
| ⑦山口県教員養成等検<br>討協議会                         |      |                             | 第1回<br>5/27 |                   |    |             |                  |                          |                  |           |    | 第2回<br>3/22         |         |
| ⑧大学と学校現場との<br>連携促進                         |      | 〔前年度データバンクを活用した大学と学校現場との連携〕 |             |                   |    |             |                  |                          |                  | 〔原稿作成・校正〕 |    | データバ<br>ンク完成<br>・配付 |         |
| ⑨先進地視察                                     |      |                             |             |                   |    |             |                  | 視察<br>11/10・11           |                  |           |    |                     |         |

## 2 実践研究の全体像

### 山口県の教師塾

#### 山口県の教師塾



#### 教師塾の改善・充実に向けた取組

#### ⑤教師力向上プログラム修了の新規採用者によるプログラムの受講支援

教師力向上プログラム修了の新規採用者をメンターとすることにより現役受講者の一層の資質能力の向上を図る。

#### ⑥教師力向上プログラムによる資質能力の向上等に関するアンケート調査

新規採用者に対してアンケート調査を実施することにより、教師力向上プログラム修了者とそれ以外の採用者の比較等を実施し、山口県の教師塾の取組の検証を行うとともに、改善・充実を図る。

#### ⑦大学と学校現場との連携促進

大学教員による事前・事後指導や実施校訪問等の取組を通して、大学と学校現場との連携を強化し、大学学部段階の養成機能の充実を図る。  
 また、教育関係人材データベースを改訂し、大学における教育内容の充実や学校現場における教員の指導力の向上を図る。

### 教師塾を支える取組

#### 県市町教委・学校と大学の連携による指導体制の構築に向けた取組

#### ⑧教員養成等検討協議会等の開催

山口県の教師塾に関する協議、検証を通して、県市町教委・学校と大学との共通理解を図り、連携による指導体制の一層の強化を図る。

#### ⑨先進地視察

他都道府県教育委員会の教師塾の取組を視察し、山口県の教師塾の改善・充実に資する。

### 3 山口県の教師塾

#### ① 教員をめざす学生の学校体験制度

**趣旨** 教員を志望する学生が、実際に児童生徒とふれあったり、教員の仕事に接したりする体験を通して、教員という職業の魅力を実感し、学校で行われる教育活動全般に関する理解を深めるとともに、体験を通して、教育に対する使命感や情熱、児童生徒を理解する力を身に付ける。

#### 事業内容

##### ○概要

県教委が指定する学校で、5日程度学校を訪問し、学習活動、学校行事、その他の学校教育活動における、教員の業務の補助を行う。

○対象者：教員を志望する大学1・2年生（短期大学は1年生）

○実施時期及び期間：平成28年8月25日（木）～9月30日（金）

○実施校及び参加者数 ( )内は、平成27年度の数字

| 校種        | 実施校数           | 参加者数             |                  |
|-----------|----------------|------------------|------------------|
|           |                | うち県内大学在籍者数       |                  |
| 小学校       | 41 (21)        | 210 (179)        | 174 (150)        |
| 中学校       | 22 (12)        | 71 (45)          | 61 (37)          |
| 高等・中等教育学校 | 11 (8)         | 41 (25)          | 36 (20)          |
| 特別支援学校    | 1 (1)          | 14 (7)           | 14 (7)           |
| <b>合計</b> | <b>75 (42)</b> | <b>336 (256)</b> | <b>285 (214)</b> |

※平成28年度から

- ・広域での制度利用を促す目的で、市町教育委員会と調整し、県下全域に実施校を設定
- ・県内大学については、各大学が窓口を設置し、参加申込みや事前・事後指導を実施

##### ○教育実践内容

|                 |  |  |
|-----------------|--|--|
| 児童生徒の指導に関わる体験活動 | 朝の業務   | 朝読書の指導、朝の会・帰りの会の話、モジュール（朝学）への参加                              |
|                 | 授業   | 授業参観（ALTとの外国語活動、中学校教諭との小中連携授業等）                              |
|                 | 授業準備   | 学級事務の補助（教具作り、提出物の確認、掲示物の貼付、日記のコメント書き等）、授業補助教材プリント作成体験（数式入力等） |
|                 | 学習指導   | 学習活動の補助、体育祭の練習・応援合戦等の生徒支援・ダンス指導の補助                           |
|                 | 成績処理   | 採点の補助、夏休み応募作品・課題等の処理等の補助                                     |
|                 | 児童生徒理解   | 休み時間の児童とのふれあい、別室登校生徒とのふれあい                                   |
|                 | 生徒指導・生活指導  | 登下校指導の補助、給食指導・清掃指導の補助  |
|                 | 部活動  | 課外活動の指導の補助   |
|                 | 児童会・生徒会  | あいさつ運動への参加、文化祭準備・文化祭当日企画運営の補助及び片付け                           |
|                 | 学校行事   | 始業式にて全校児童の前での挨拶、体育祭当日に職員競技への参加、学校行事（総合スポーツ大会）運営の補助           |
|                 | その他  | LHRでの意見交換や体験談講話、受験や高校生活など3年生からの質問に答える、職場見学の準備・引率（徒歩）及びまとめの補助 |
| 学校の運営に関わる体験活動   | 学年学級経営   | 担任や他の教員との情報交換（指導や質疑応答等）                                      |
|                 | 学校経営   | 校長による講話  |
|                 | 会議・打ち合わせ   | 「学校保健安全委員会」への参加、職員連絡会への参加、会議用資料の作成の補助                        |
|                 | 校内研修   | 教員から話を聞く、職員研修への参加（道徳の教材研究および指導案検討会、学力向上推進リーダーによるミニ研修会等）      |
|                 | 環境整備   | 体育倉庫・運動場の整備、草刈り後の草集め、図書室経営業務の補助、花壇の整備、教室整備（掲示・掃除等）           |
| 校務分掌            | 蔵書管理作業（データベース化）の補助、時間割変更連絡掲示作成の補助、養護教諭の保健業務の補助（診断票等の整理、救護処置） |  |

## <県内関係大学・短期大学を対象としたアンケート結果から>

▽大学等の窓口の一本化について

(1) 評価

|       | 効果的である | やや効果的である | あまり効果的でない | 効果的でない |
|-------|--------|----------|-----------|--------|
| 全9大学等 | 8      | 1        | 0         | 0      |

(2) 実施に対する意見

- ・ 県教委との連絡・調整・相談事項を集中して出し入れ出来るため、学部内での学生連絡、掲出を含む学生指導上の遺漏が無くなり大変有効であった。
- ・ 担当係員の業務量が相当増加した。
- ・ 学科が異なるケースが生じたので、学生に連絡をとるのに結構手間取った。

## <実施校を対象としたアンケート結果から>

▽面接時及び活動時における学生の態度や取組について

(1) 活動に対する心構えや取組について

|      | よい | ややよい | あまりよくない | よくない |
|------|----|------|---------|------|
| 全75校 | 54 | 21   | 0       | 0    |

(2) あいさつ、言葉遣い、服装等のマナーについて

|      | よい | ややよい | あまりよくない | よくない |
|------|----|------|---------|------|
| 全75校 | 54 | 21   | 0       | 0    |

▽大学との連携について

(1) 大学に対する意見・要望

- ・ 大学職員等の訪問により、体験中の学生の様子について情報共有できることはありがたい。
- ・ 各大学で事前指導が行われたことで、学生が礼儀作法や振る舞い、職務への自覚などを理解した上で円滑に体験学習に入ることができていた。
- ・ 大学での指導が行き届いているのか、大変マナーの良い学生であった。
- ・ 大学の訪問日時を事前に知らせてほしい。
- ・ 台風等により緊急に連絡が必要な場合、参加者に連絡が取れるシステムがあるとよい。

## 事業成果

- 1年生時の参加者が、2年生になっても参加を希望したことや、県外大学にも周知を進めたことから、参加者数が増加した。
- 参加者からは、児童生徒とのふれあいや教員との関わりを通して、教員の仕事の魅力を実感でき、教員になりたいという意欲が高まったり、現在の自分自身の課題に気付いたりしたこと等が報告されている。
- 実施校からは、児童生徒や教職員が、参加者の意欲や活動に刺激を受け、学校の活性化につながったり、OJTを進める中で現職教員の資質能力の向上につながったりしているとの報告を受けている。
- 県内各大学が窓口を設置し、参加申込みや事前・事後指導を実施したことから、養成段階の充実に向けて県教委・学校と大学との連携が一層進んだ。



## 事業成果を踏まえた今後の方向性

- 参加者が増加し、事務局も大学も事務処理量が増加していることから、改善を図る。
- 大学と連携し、大学を主体とした学校インターンシップ制度への移行を図る。

**趣旨**

学校体験や教育実習等、学校現場での体験・実践の積み重ねを通して、児童生徒を理解し、惹きつける豊かな人間性や確かな学力の育成を図る授業力や生徒指導に関する力などの実践的指導力を育成する、いわゆる「教師塾」の仕組みを構築する。

**事業内容****○概要**

教育に対する使命感や情熱を有し、本県の教員を強く志す者に対して、優れた指導力を有する山口県の教員の教育実践について学び、大学で身に付けた専門的知識の具現化を図る機会を提供することにより、子どもたちの確かな学力の育成を図る授業力や生徒指導に関する力などの実践的指導力を養い、将来の山口県教育を担う人材を育成する。

**○教師力向上プログラムの内容****ア 教師力養成講座**

授業づくり、学級経営、児童生徒理解等、各分野に関する学校現場での実践に基づく講義・演習を行う。

**イ 教師力養成体験実習**

学校現場で優れた指導力を有する教員のもと、授業づくり、学級活動、行事等、教育活動に関する実習を行う。

**○実施期間：**平成28年10月29日（土）から平成29年2月25日（土）まで

**○対象者**

- (1) 小学校教諭一種免許状課程認定大学（大学院を含む。）に在籍し、平成30年3月に卒業又は修了見込みで、「エントリー資格・推薦基準」に基づき学長等が推薦する者
- (2) 教師力向上プログラム（教師力養成講座・教師力養成体験実習）に全て参加できる者

**○エントリー資格・推薦基準**

山口県公立小学校の教員を強く志望する者で、次の(1)から(6)までの全てを満たす者

- (1) 子どもへの深い教育的愛情をもち、子どもの指導に労を惜しまず取り組み、自らの指導力を向上させていこうとする者
- (2) 心身ともに健康であり、学業成績及び人物ともに高く評価できる者
- (3) 小学校教諭の普通免許状を有する者又は平成29年度中に取得見込みである者
- (4) 平成30年度（平成29年度実施）山口県公立学校教員採用候補者選考試験を受験する者
- (5) 次のア～ウのいずれかに該当する者

ア 山口県の「教員をめざす学生のための学校体験制度」に参加した経験がある者

イ 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校において体験活動やボランティア活動等を経験し、その経験を大学において単位認定されている者

ウ 小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校において体験活動やボランティア活動等を10日以上経験し、その経験を学長等が証明できる者

- (6) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者

**○選抜試験**

小論文（50分間）、個人面接を実施する。

**■ 各試験項目における試験内容及び評価の視点**

| 試験項目 | 試験内容 | 評価の視点                   |
|------|------|-------------------------|
| 筆記試験 | 小論文  | 教育観、教育に対する情熱・意欲や使命感、表現力 |
| 面接試験 | 個人面接 | 教育的愛情、教育観、教育に対する情熱・意欲   |

**○受講者：**32人（志願者63人）（平成27年度：32人（志願者60人））

## ○主なスケジュール

|       |           |                            |
|-------|-----------|----------------------------|
| 平成28年 | 7月5日(火)   | 事業案内及び受講者選抜試験実施要項発表        |
|       | 8月5日(金)   | エントリー書類提出期限                |
|       | 9月3日(土)   | 受講者選抜試験                    |
|       | 9月30日(金)  | 選抜結果通知                     |
|       | 10月29日(土) | 開講式                        |
|       | ～         | プログラム(教師力養成講座、教師力養成体験実習)実施 |
| 平成29年 | 2月25日(土)  | 閉講式                        |
|       | 3月17日(金)  | 修了認定                       |

## ○「教師力養成講座」実施内容

- ・学校現場での実践に基づいた講義・演習を7回実施(平成27年度は6回)
- ・講師は、本県の現状を把握し、教育活動の改善・充実に向けて取り組んでいる本県教育庁関係課担当者が担当

| 回 | 日時                      | 講座・演習内容等  |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 10/29(土)<br>10:00～16:30 | ・開講式<br>・小学校における児童生徒理解<br>・オリエンテーション<br>・A F P Yの理論と実践  |
| 2 | 11/19(土)<br>10:00～16:30 | ・人権教育<br>・教師力向上プログラム修了者との座談会<br>・小学校における特別支援教育<br>・学級経営 |
| 3 | 11/26(土)<br>13:00～17:30 | ・学校教育の情報化への対応<br>(山口大学ちゃぶ台次世代コーホートとの合同研修)               |
| 4 | 12/17(土)<br>9:30～16:30  | ・やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバルへの参加                           |
| 5 | 1/14(土)<br>10:00～16:30  | ・体力の向上<br>・授業づくり<br>・健康づくり<br>・小学校における外国語活動             |
| 6 | 1/28(土)<br>10:00～16:30  | ・心の教育(道徳の時間)<br>・国語の模擬授業<br>・いじめ・問題行動への対応<br>・理科の模擬授業   |
| 7 | 2/25(土)<br>10:00～16:30  | ・安心・安全な環境づくりと安全教育<br>・報告会<br>・講話「若き教員に期待する」<br>・閉講式     |

※第7回の報告会には大学教員6名が出席

## ○「教師力養成体験実習」実施内容

- ・学校現場の教員のもと、学校現場で授業、学級活動、行事等教育活動に関する演習を実施
- ・8市20校で実施(平成27年度は7市21校)

※11月2日(水)に担当者連絡会議を開催。全ての市教育委員会及び実施校担当者並びに大学教員3人が参加

| 教師力養成体験実習① 11月7日(月)～11月13日(金) |   |
|-------------------------------|---|
| 【実習校】                         | 県教育委員会が指定する学校   |
| 【実習回数】                        | 期間内に4日以上学校で実習を行う。   |
| 【活動内容】                        | (授業・学級経営・生徒指導)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観、教材準備</li> <li>・学習に遅れのある児童への支援</li> <li>・読書タイムの読み聞かせ</li> <li>・給食指導の補助、清掃活動の支援 等</li> </ul> (教育活動全般)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の補習における指導</li> <li>・特別な支援が必要な児童への支援</li> <li>・学級活動の補助</li> </ul> (教員の仕事全般)<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・登校時、下校時のあいさつ指導</li> <li>・地域との連携活動への参加 等</li> <li>・保護者対応・保護者との交流</li> </ul> 等<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修への参加</li> <li>・学校行事の準備・実施の際の補助、校外行事への指導補助</li> </ul> |

教師力養成体験実習② 2月1日(水)～2月24日(金)

【実習校】 県教育委員会が指定する学校

【実習回数】 期間内に6日以上学校で実習を行い、1回以上の授業研究を実施

【活動内容】 (授業づくり)

・授業参観 ・指導案作成、教材準備 ・授業及び授業研究 等  
(教育活動全般)

・学校の教育活動全般の支援・補助 ・登校時、下校時のあいさつ指導  
・保護者対応・保護者との交流 ・地域との連携活動への参加 等

(教員の仕事全般)

・校内研修への参加 ・学校行事の準備・実施の際の補助、校外行事への指導補助 等

<平成28年度山口県教師力向上プログラム受講者の資質能力の変容について>

【調査の実施方法】

- ・受講者：自己評価を講座の開始及び終了時に実施
- ・実施校：教師力養成体験実習実施校による評価を実習終了時に実施

【評価項目及び結果】

- ・項目ごとに、5段階で評価(大学3年生等の段階で考えられる標準を3とする)

受講者：5(十分にできている)→1(できていない)

実施校：5(非常に優れた資質能力を有している)→1(教員としての資質能力がない)

( )内は平成27年度の数値

| 評価項目         |   | 達成目標   | 評価平均値        |                     |                     |
|--------------|---|--|--------------|---------------------|---------------------|
|              |   |  | 受講者          |                     | 実施校                 |
|              |   |  | 開始時          | 終了時                 | 終了時                 |
| 学習態度         | 倫理観   | ①無断欠席・遅刻等をせず、挨拶、服装、言葉遣い等、社会人としての基本が身に付いた。    | 3.7<br>(3.8) | <b>4.3</b><br>(4.5) | <b>4.7</b><br>(4.5) |
|              | 自己研鑽への意欲<br>チャレンジ精神   | ②指導担当教員等からの指導や助言を改善につなげ、何事にも積極的に挑戦した。        | 3.9<br>(3.7) | <b>4.7</b><br>(4.3) | <b>4.6</b><br>(4.5) |
| 教職への<br>意欲への | 使命感<br>情熱・意欲  | ③学校の仕組みや教員の仕事の内容、さらには職責を十分理解した。              | 2.9<br>(3.0) | <b>3.5</b><br>(3.8) | <b>3.8</b><br>(3.8) |
|              |   | ④教職へ熱意・関心を持ち、実習等に対して主体的な取組をした。               | 4.1<br>(4.0) | <b>4.6</b><br>(4.4) | <b>4.5</b><br>(4.6) |
| 児童生徒理解<br>等  | 児童生徒の共感的<br>理解<br>人権尊重の精神<br>コミュニケーション能力<br>生徒指導に係る指<br>導力<br>教育的愛情 | ⑤児童生徒と積極的に関わりをもとめようとするなど、児童生徒理解に努めた。         | 4.3<br>(4.1) | <b>4.6</b><br>(4.7) | <b>4.5</b><br>(4.8) |
|              |   | ⑥児童生徒の声を受け止め、受容的・共感的な態度で接し、良好な関係を築いた。        | 3.8<br>(3.7) | <b>4.5</b><br>(4.4) | <b>4.4</b><br>(4.4) |
|              |   | ⑦必要に応じて毅然とした態度で児童生徒に接し、個別や学級等の集団に対して適切に指導した。 | 3.1<br>(3.0) | <b>3.5</b><br>(3.4) | <b>3.7</b><br>(3.7) |
| 学習指導         | 幅広い教養<br>専門的知識<br>技能  | ⑧観点をもって授業を観察し、自分の取組に生かした。                    | 3.4<br>(3.3) | <b>3.9</b><br>(3.9) | <b>3.9</b><br>(4.0) |
|              |   | ⑨発問や説明、板書、児童生徒への適切な対応など基礎的な指導技術を身に付けた。       | 2.9<br>(2.8) | <b>3.5</b><br>(3.4) | <b>4.2</b><br>(4.2) |
|              |   | ⑩支援を要する児童生徒に積極的に関わり、適切な支援を行うための指導方法を身に付けた。   | 3.0<br>(2.9) | <b>3.5</b><br>(3.5) | <b>3.9</b><br>(4.0) |
| 総合評価         |   |  | 3.3<br>(3.4) | <b>3.9</b><br>(4.0) | <b>4.2</b><br>(4.3) |

- ・受講者の評価平均値は、全ての項目で受講開始時に比べ終了時の数値が上昇しており、特に、太枠で囲んだ②と⑥の数値が大きく上昇している。
- ・実施校の評価平均値と受講者の自己評価の結果とが、似通った数値となっている。
- ・数値に網掛けを付けている①、⑨、⑩については、受講者自身が思っている以上に、実施校の評価が相当高くつけられている。
- ・平成28年度と平成27年度の数値は、非常に似通っている。

## 事業成果

- 講義・演習の回数を増やし、平成28年度新たに、オリエンテーションの実施や教師力向上プログラム修了者との座談会の開催、やまぐちコミュニティ・スクール推進フェスティバルへの参加を加えたことにより、本県公立小学校教員のめざす受講者の学ぶ意欲を一層高めることができた。
- 講義・演習の中で、受講者同士が意見交換やグループワークを行う場面を多く取り入れたことにより、学ぶ意欲の高い集団が形成されることで、質の高い学びが展開され、受講者の学ぶ意欲がより一層高まっている。
- 大学教員が、担当者会議や報告会への参加、実習校への訪問を行ったことにより、学校と大学とが連携した指導体制を構築することができた。



## 事業成果を踏まえた今後の方向性

- これまでの実施の成果・課題を踏まえながら、教師力向上プログラムの実施期間や受講内容等の見直しを行い、改善・充実を図る。
- 次年度以降は、国事業を活用せず、受講料の徴収により事業の運営を行う。

## ③ 山口県教師力向上プログラム修了者特別選考

**趣旨** 数日間で実施している選考試験とは別に、教師力向上プログラムでの教育実践の状況や講義での学習状況等を面接、実習評価、教育実践や講義に関するレポートなどを通して、受講者の意欲や人物、実践的指導力、適性等について、長期的かつ多面的に評価し採用する制度を構築する。

## 事業内容

### ○概要

教師力向上プログラムで身に付いた資質能力を評価し、プログラム修了者については教員採用選考の一部を免除するなど特別選考で採用する。

### ○平成29年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験における教師力向上プログラム修了者を対象とした特別選考の内容

- ・名称：山口県教師力向上プログラム修了者特別選考
- ・志願区分：小学校
- ・要件：平成27年度山口県教師力向上プログラムを修了した者
- ・試験項目：
  - 第一次試験：教科専門（教職専門及び集団面接を免除）
  - 第二次試験：適性検査、小論文、集団面接、個人面接、実技

○選考結果

( ) 内は、平成27年度の数字

| 志願者数    | 第一次試験   |         | 第二次試験   |          |
|---------|---------|---------|---------|----------|
|         | 受験者数    | 合格者数    | 受験者数    | 名簿登録予定者数 |
| 31 (27) | 31 (27) | 31 (26) | 31 (26) | 29 (26)  |

**事業成果**

○平成27年度と同様、平成28年度も特別選考受験者の合格率は高くなっており、プログラム修了後も資質能力の向上に努めていることが伺え、所期の目標を達成したと考えている。

**事業成果を踏まえた今後の方向性**

○引き続き、プログラム修了者を対象とした特別選考を実施する。

**④ 採用前教職インターンシップ**

**趣旨**

新規学卒採用予定者が、自信をもって4月から教壇に立つことができるよう、採用予定決定後、大学卒業までの期間に教育実践を積むことで、児童生徒を理解し、惹きつける豊かな人間性や子どもたちの確かな学力の育成を図る授業力、生徒指導に関する力などの実践的指導力の向上を図る。

**事業内容**

○概要

- 県教委が指定する学校において、一定期間学校を訪問し、授業実践と教員の業務の補助を行う。
  - ・長期型……11月～2月の間、大学の講義のない曜日に実施校を訪問し、授業実践や教育実践を行う。
  - ・短期連続型……一定期間に集中して実施校を訪問し、授業実践や教育実践を行う。
- ※長期型での参加が困難な者を対象に実施

○対象者

平成29年度山口県公立学校教員採用候補者名簿登録予定者の内、平成29年3月に大学又は短期大学を卒業予定の者及び大学院を修了予定の者。ただし、小学校教諭及び養護教諭採用候補者に限る。(大学院2年生、大学4年生、短期大学2年生)



○実施時期及び期間：平成28年11月4日(金)～平成29年2月28日(火)の5日程度

○参加者：小学校75人、養護教諭3人  
(平成27年度：小学校61人、養護教諭2人)

| 校種等         | 名簿登録予定者数 | 参加者数(参加率)  |
|-------------|----------|------------|
| 小学校(新規学卒者)  | 139人     | 75人(54.0%) |
| うち県内大学在籍者   | 75人      | 63人(84.0%) |
| 養護教諭(新規学卒者) | 7人       | 3人(42.9%)  |
| うち県内大学在籍者   | 2人       | 1人(50.0%)  |

○実施校等：10市43校(平成27年度：10市38校)

○実施方法及び実施日数

| 実施方法 | 5  | ～6 | ～7 | ～8 | ～9 | ～10 | 10超 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|-----|-----|----|
| 長期型  | 14 | 4  | 6  | 4  | 1  | 4   | 5   | 38 |
| 短期型  | 31 | 4  | 1  | 2  | 1  | 1   | 0   | 40 |
| 合計   | 45 | 8  | 7  | 6  | 2  | 5   | 5   | 78 |

## ○教育実践内容

- ・実施校は、参加者が採用予定者であることから、授業実践を多く実施させている。
- ・参加者は、採用前ということで、学級経営の在り方について注目し実習を行っている者が多い。また、職員会議や校内研修会等への参加を経験したものも多くおり、教員の業務全体を具体的にイメージすることができている。

## 事業成果

- 参加者は、多くの授業実践を行うことにより、4月に向けての課題を再認識することができている。
- 県内各大学が窓口を設置し、参加申込みや事前・事後指導を実施したことから、養成段階の充実に向けて県教委・学校と大学との連携が一層進んだ。

## 事業成果を踏まえた今後の方向性

- 本事業に参加したメリットや成果の周知について改善を図り、参加率を上昇させる。
- 中学校、高等学校、特別支援学校及び栄養教諭への対象拡大について検討を行う。

## 4 教師塾の改善・充実に向けた取組

### ⑤ 山口県教師力向上プログラム修了の新規採用者によるプログラムの受講支援

**趣旨** 山口県教師力向上プログラムを修了し新規採用となった現職教員が、現役受講者の受講を支援する体制を構築し、プログラム受講についての助言等により受講者の学びを深める支援体制を充実するとともに、複雑化・多様化する学校現場の情報を得る機会を設けることにより、受講者の実践的指導力の育成に資する。

また、修了年度を超えた修了者同士の間人関係を構築し、県全体として学び続ける教員集団づくりを行う。

## 事業内容

### ○対象教員

平成26年度山口県教師力向上プログラムを修了し、平成28年4月1日に山口県内の公立小学校教員として採用された方を対象に募集。

### ○活動内容

▽教師力養成講座第2回講座への参加

平成28年11月19日（土）開催の教師力養成講座において、受講者との座談会に参加

▽電話による受講者からの相談対応

山口県教育委員会が指定する2日間の放課後の時間に、受講者からの相談に対して助言を実施

### ○応募者

対象教員26人に対して17人が応募(全員を委嘱)

### ○座談会についての主な感想

#### 【受講者】

- ・プログラムの経験者から話を聞くことができたので、プログラムについて明確なイメージを持つことができた。
- ・現職教員から学校現場の実情を聞き、身に付けなければいけない資質能力がはっきりした。
- ・先輩教員を見て、2年後の自分の姿を想像することができ、プログラムに取り組む意欲が増した。

### 山口県教師力向上プログラム受講者支援修了者を募集します！

◆◆ 山口県教師力向上プログラム受講者の成長に力を貸してください！ ◆◆

平成26年度からスタートした教師力向上プログラムも、今年で3年目を迎えました。第1期生である皆さんは、今年度の4月から教壇に立ち、子どもたちの笑顔が溢れる学校において充実した毎日を送っていることと思います。

皆さんは、第1期生であったが故の様々な苦労を経験しながらも、期を越える先輩もあらず、不安を抱えながら受講されたことと思います。

しかし、第2期生の中には、そのような苦労を経験した皆さんの働きにより、教師力向上プログラムの受講を決めた者、教師力養成講座や教師力養成研修会において一層充実した経験ができた者も、たくさんいらっしゃいます。

第1期生である皆さんには、実際に学校現場に立って初めて実感した教員としての職業の豊かに加え、教師力向上プログラムで、「こんなことを学べばよかった、こんなことを経験しておけばよかった。」という思いもあるのではないのでしょうか。

**教員としてだけでなく、プログラム修了者としての誇りや喜びを伝える皆さんの力を第3期生の成長のために生かしていただくことを願っています。**

- 1 対象教員**  
平成26年度山口県教師力向上プログラムを修了し、平成28年4月1日に山口県内の公立小学校教員として採用された方を対象に募集を行います。
- 2 活動内容**
  - 教師力養成講座第2回講座への参加  
平成28年11月19日（土）開催予定の上記講座において、事例発表及び受講者との座談会に参加します。
  - 電話による受講者からの相談対応  
山口県教育委員会が指定する2日間の放課後の時間に、受講者からの相談に対して助言を行います。
- 3 募集人数・応募方法等**
  - ◆ 募集人数 10人程度
  - ◆ 応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、市町教育委員会を通じて山口県教育庁教員採用課人事室宛宛で提出願います。
  - ◆ 参加者の決定 応募者の中から、参加を依頼する方には、山口県教育庁教員採用課市町教育委員会、所属校長及び本人に連絡します。

受付期間 平成28年8月10日（水）まで

問い合わせ先  
山口県教育庁教員採用課人事室  
TEL：083-933-4550

### 【現職教員】

- ・ 学生時代に自分が不安に思っていたことや知りたかったことを思い出し、初心に帰れた。
  - ・ 自分の教育観等を改めて整理し、教育実践を振り返る機会となった。
  - ・ 初任者として先輩教員に助けられる日々を過ごす中で、縦のつながり、後輩の存在を意識することができた。
- (電話相談については、十分に機能しなかった。)

### 事業成果

- 受講者は、先輩教員の助言により、プログラムにおいて一層充実した経験を積むことができた。
- 受講者は、先輩教員の姿を見て、自己の目標を明確にすることができた。
- 受講時期を越えた人間関係を構築することができた。

### 事業成果を踏まえた今後の方向性

- 受講者が、より相談しやすい制度となるよう、改善・充実を図る。

## ⑥ 山口県教師力向上プログラムによる資質能力の向上等に関するアンケート調査

### 趣旨

第1期の教師力向上プログラム修了者が平成28年度の新規採用者になっていることから、新規採用者に対するアンケートを実施し、学校現場に出て教職生活を送る中で感じたプログラム実施の成果や課題等を明らかにし、プログラムの改善・充実を図る。

### 事業内容

#### ○ 概要

- ・ 平成28年度採用の小学校教諭のうち、新規学卒者を対象に調査を実施
- ・ 回答を教師力向上プログラム修了者とそれ以外の者に分けて比較

#### <大学等における教職課程及び採用前教職インターンシップ、

#### 山口県教師力向上プログラムに係る調査結果について>

#### 1 大学等における教職課程等について

##### (1) 初任者が学校現場で求められる資質能力の身に付けた程度について

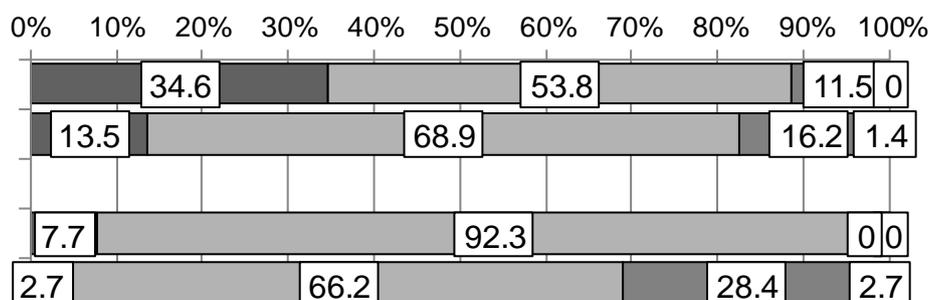
大学等における教職課程で身に付けた程度について、「小学校教職課程ハンドブック(平成28年度版)」(東京都教育委員会(平成28年3月))において示された、大学で学生に身に付けてほしい資質能力3領域17項目に基づいて調査を行った。

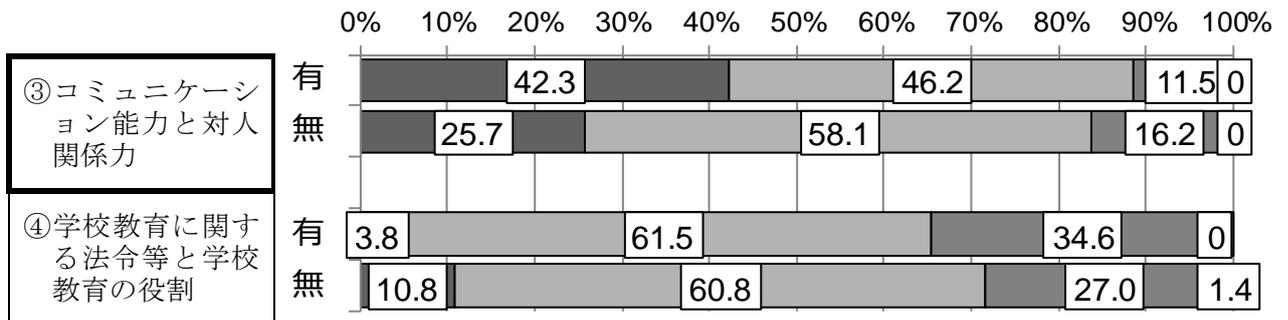
なお、資質能力の項目が太枠となっているのは、教師力向上プログラムの受講経験の有る者の方が「よく又はある程度身に付けた」の割合が高い項目である。

### ○ 教員の在り方

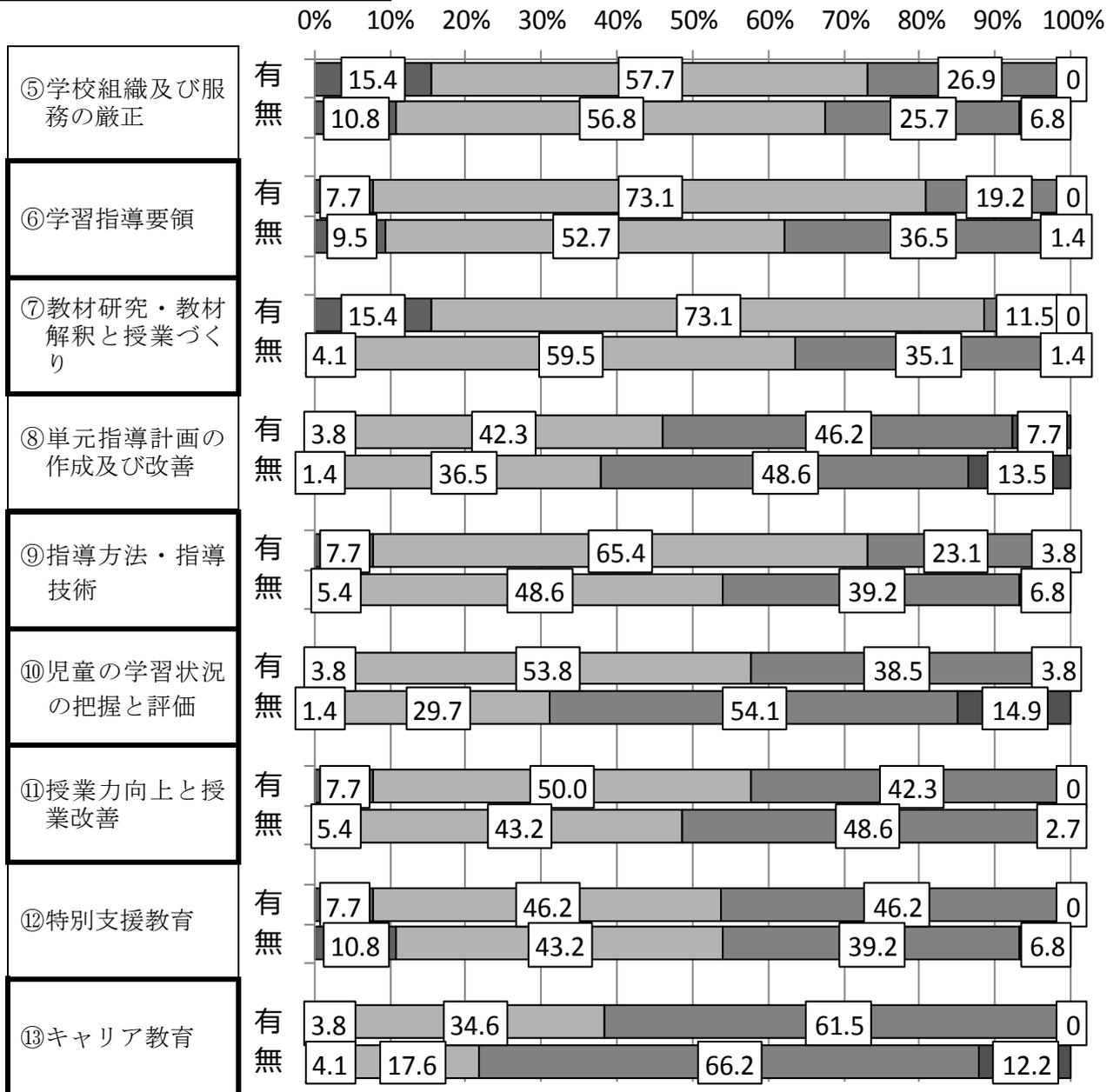
- ① 教員の仕事に対する使命感と豊かな人間性
- ② 教員として必要な教養

- よく身に付けた
- ある程度身に付けた
- あまり身に付けていない
- ほとんど身に付けていない

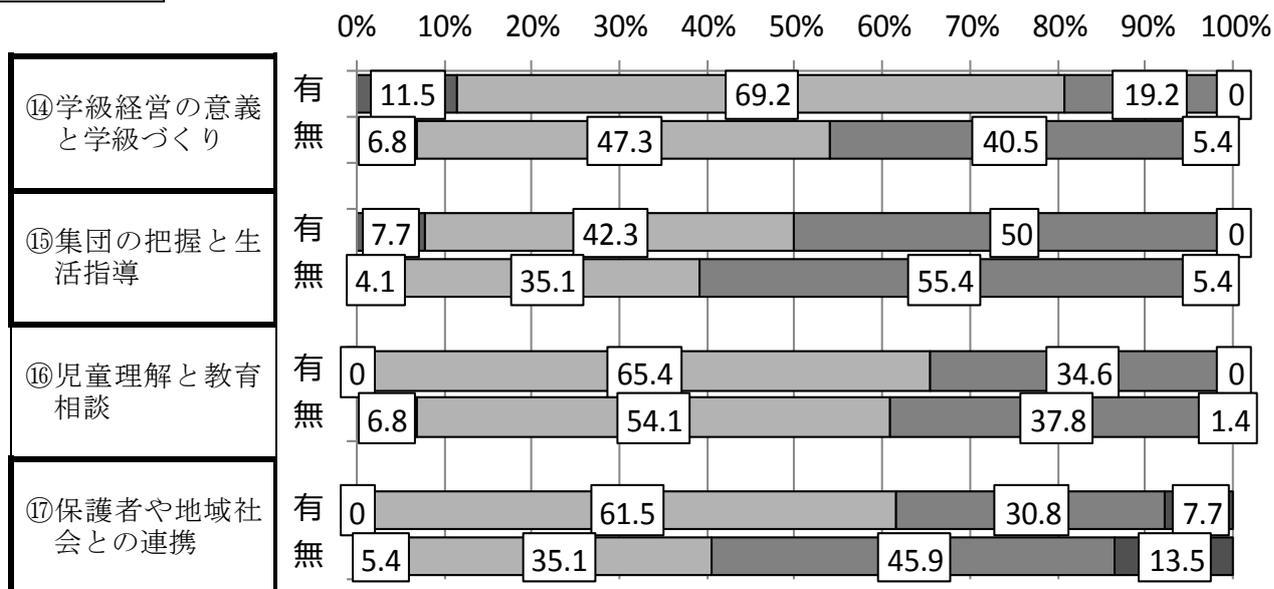




○ 各教科等における実践的指導力

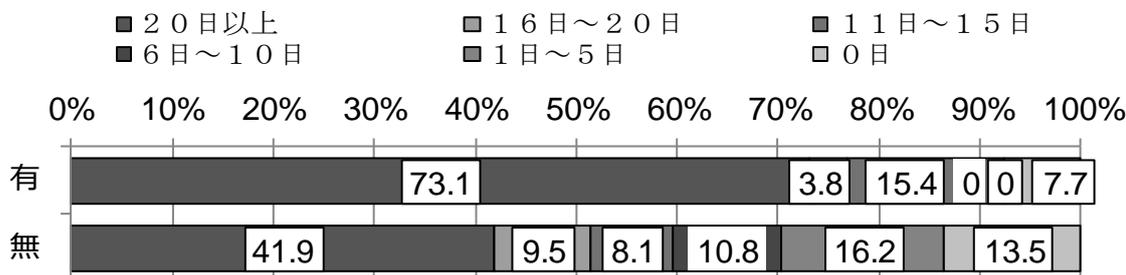


○ 学級経営



(2) 学校支援ボランティア等による学校現場の体験日数

大学等の教職課程以外での学校現場の体験状況を把握するために、学校支援ボランティア等による学校現場の体験日数について調査を行った。なお、調査に当たっては、教育実習、教員をめざす学生の学校体験制度、採用前教職インターンシップ、山口県教師力向上プログラムによる日数は除いている。



(3) 大学等における教職課程に望むこと（自由記述）

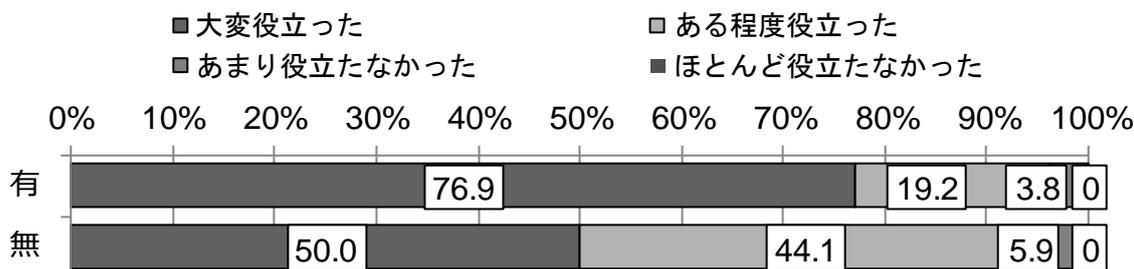
(主な意見)

- ・学校現場における実践の充実（22人）
- ・授業づくり、教科指導の充実（15人）
- ・学級経営、児童理解の充実（10人）
- ・現職教員による講義・講話（5人）

2 採用前教職インターンシップについて

(1) 採用前教職インターンシップの効果について

採用前教職インターンシップへの参加が、教職への適応力を高め、教員に求められる実践的指導力を向上することに役立ったかどうか調査を行った。



## (2) 採用前教職インターンシップに望むこと（自由記述）

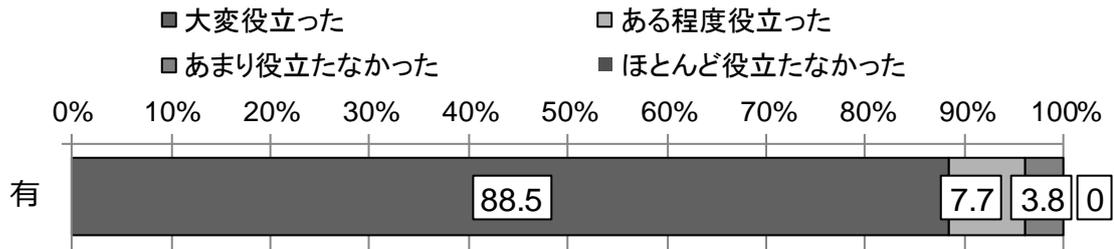
（主な意見）

- ・授業実践の充実（6人）
- ・実施校決定への配慮（4人）
- ・学級経営に関する指導の充実（4人）
- ・複数学年の経験（3人）
- ・実施に当たってのマニュアル、プログラム等の作成（3人）

## 3 山口県教師力向上プログラムについて

### (1) 山口県教師力向上プログラムの効果について

山口県教師力向上プログラムへの参加が、大学で身に付けた専門的知識を具現化し、教員に求められる実践的指導力を向上することに役立ったかどうか調査を行った。



### (2) 山口県教師力向上プログラムに望むこと（自由記述）

（主な意見）

- ・受講期の異なる者同士の交流の機会の充実（6人）
- ・受講者による授業づくり・模擬授業の実施（2人）
- ・受講回数の増加（2人）

## ○検証結果

- ・山口県教師力向上プログラム修了者はそれ以外の者と比較して、学校現場で求められる資質能力について、大学等における教職課程において身に付けたと考える者の割合が高く、高い意識を持って学修していたと考えられる。
- ・また、山口県教師力向上プログラム修了者の方が、学校支援ボランティア等の学校現場における体験を多く行っているだけでなく、採用前教職インターンシップが「役に立った」と考えた者の割合も高いことから、理論と実践の往還を積極的に行っていた。

## 事業成果

- 山口県教師力向上プログラム修了者は、高い意識を持って大学生活を送ったことが裏付けられるとともに、教師力向上プログラムを通して受講者は実践的指導力の向上を実感できていることを把握することができた。
- 調査結果を山口県教員養成等検討協議会で報告したことにより、成果と課題について大学等と共有できた。

## 事業成果を踏まえた今後の方向性

- 山口県教師力向上プログラム修了者を対象とした調査を継続的に行い、プログラムの更なる改善・充実を図る。

## 5 教師塾を支える取組

### ⑦ 山口県教員養成等検討協議会等の開催

**趣旨** 平成25年度に設置した、教員養成課程を有する県内全ての大学・短期大学と学校関係者からなる本協議会により、取組の方向性の検討、取組の推進、進行管理を行い、教育委員会・学校、大学等が一体となった取組を推進する。

#### 事業内容

##### ○委員

本県教育の担い手である教員の養成や採用及び現職教員の育成などに向けて、大学等と連携した取組を進めるため、養成課程を有する県内すべての大学等から推薦された委員、市町教育委員会及び各校種を代表する校長を委員とする。

<県内大学委員>

山口大学、山口県立大学、下関市立大学、徳山大学、山口学芸大学・山口芸術短期大学、宇部フロンティア大学、梅光学院大学、東亜大学、山口東京理科大学、至誠館大学、山口短期大学



##### ○第1回会議（平成28年5月27日）協議内容

- ①平成27年度検討協議会の協議概要について（報告）
- ②文部科学省委託事業「平成28年度総合的な教師力向上のための調査研究事業」を活用した取組について（報告）
- ③山口県教師力向上プログラムの充実について（協議）
  - ・平成28年度プログラムについて
  - ・平成29年度以降の受講料の徴収について
- ④大学等との連携の強化による「山口県の教師塾」の充実について（協議）
- ⑤その他（連絡）
  - ・高校生のための教職セミナーについて
  - ・第2回会議について

##### ○第2回会議（平成29年3月22日）

- ①文部科学省委託事業「平成28年度総合的な教師力向上のための調査研究事業」を活用した取組の実施状況等について（報告）
- ②教師力向上プログラムの成果の検証について（報告）
- ③「山口県の教師塾」の充実について（協議）
- ④教育公務員特例法の一部改正に伴う対応について（協議）
- ⑤教育職員免許法の一部改正に伴う対応について（協議）
- ⑥その他（連絡）
  - ・山口県教育関係人材データベースの改訂について
  - ・次年度委員への引継ぎについて

#### 事業成果

- 教育委員会・学校と大学が連携した教員の養成・採用・研修の育成の充実に向けた取組を共通理解のもと実施することができた。
- 特に、養成段階の取組においては、県教委の取組に対して、各大学が窓口を設置し、県教委と学生との調整を行うとともに、事前・事後指導を進めたことにより、円滑な運営を行うことができた。

## 事業成果を踏まえた今後の方向性

- 平成29年度は、教育公務員特例法の一部改正により「協議会」を設置することとなるが、本協議会を基にして、円滑な移行を図り、引き続き、教育委員会・学校と県内大学とが連携した取組を進める。

## ③ 大学と学校現場との連携促進

**趣旨** 現職教員等が大学の授業に参画することで、授業力を有する教職志願者を育成するとともに、理論と実践の融合（現職教員及び大学教員双方の資質能力の向上）を図る。また、大学教員による「山口県の教師塾」実施校の訪問等を通して、大学と学校現場との連携強化を図る。

### 事業内容

#### ○概要

大学が実施している講義において、教育力向上指導員やセンターの長期研修教員、現職教員等が参画して、学習指導（授業づくり）、生徒指導等、実践的授業を行う。

また、大学教員が、教師力向上プログラムの教師力養成講座に参加したり、教師力養成体験実習実施校を訪問したりすることで、教育委員会や実習校での実習内容を把握する。

これらの取組により、教員志望学生の指導を教育委員会・学校と大学が協働して行う。

#### ○山口県教育関係人材データバンクの作成

##### ▽掲載内容

県内教育関係大学研究者リスト、教育力向上指導員リスト、長期派遣研修者リスト、学力向上推進リーダー・学力向上推進教員リスト、体育授業マイスターリスト

##### ▽具体的取組例

- ・教員をめざす学生のための学校体験制度実施校への大学教員の参加者指導訪問
- ・山口県教師力向上プログラム担当者連絡会議や報告会への大学教員の参加
- ・データバンクを活用した、やまぐち総合教育支援センターにおける研修会大学教員の講師招聘や山口大学におけるちやぶ台次世代コーホートにおける現職教員の事例発表者招聘
- ・大学の講義への現職教員の参画

#### ○「山口県の教師塾」を通じた連携

- ・県内各大学が窓口を設置し、参加申込みや事前・事後指導を実施
- ・「教員をめざす学生の学校体験制度」を単位化している学校については、大学教員が実施校を訪問
- ・「山口県教師力向上プログラム」における「教師力養成講座」の報告会や「教師力養成体験実習」の担当者連絡会議に大学教員が参加



### 事業成果

- 山口県養成等検討協議会において、教育委員会・学校と大学とが協働して教員養成や現職教員の育成に関わることの必要性について共通理解ができていることに加え、人材データバンクがあることで、連携の促進が図られている。

### 事業成果を踏まえた今後の方向性

- 人材バンクは、教員養成や現職教員の育成において教育委員会・学校と大学とが協働する上で積極的に活用されていることから、今後も時点更新を行う。
- 大学と連携し、大学を主体とした学校インターンシップ制度への移行を図る。

## ⑨ 先進地視察

**趣旨** 学校現場での体験・実践の積み重ねを通じた教師塾や教員採用選考試験における特別選考等を実施している教育委員会を訪問により、他都道府県の実施状況を把握し参考にすることで、本県の教師塾の改善・充実を図る。

### 事業内容

#### ○訪問先等

- ・平成28年11月10日（木）  
大阪府教育センター（大阪教志セミナー）
- ・平成28年11月11日（金）  
石川県教育委員会（いしかわ師範塾）

#### ○調査内容

- ・受講者募集や応募の状況、受講者の構成（社会人、常勤講師等の割合）
- ・講座の内容及びその設定の考え方並びに実施方法及び講師等
- ・学校現場での体験活動の実施方法  
（受講者の振り分け、体験活動内容、体験活動の評価方法、指導教員の関わり）
- ・受講者の育成の視点及び水準
- ・受講者の資質能力の変容
- ・大学との連携
- ・修了認定の方法（修了者の割合）
- ・修了者の教員採用候補者選考試験（特別選考）受験状況及び合格者の割合
- ・教師塾出身教員の採用後の学校現場での様子
- ・運営経費（受講料）
- ・成果と課題及びその検証方法
- ・今後の計画・方向性
- ・養成段階における教員研修所・センターの役割 等

### 事業成果

- 先進的な教師塾について、事務局を調査訪問することにより、教員志望学生の授業力や生徒指導等に関する力などの実践的指導力を養う山口県教師力向上プログラムに必要な今後の取組や課題等が明らかになった。
- 訪問を通して得られた教育委員会担当者間のネットワークは、今後の本県の取組の大きな力になるものとする。

### 事業成果を踏まえた今後の方向性

- これまで視察によるノウハウの蓄積は、山口県教師力向上プログラムの更なる改善・充実に資する。

# 【スクールリーダーの育成関係】

## 1 事業の実施日程

| 事業項目              | 実施日程 |                                  |                 |                        |    |                 |                  |                  |                          |    |    |                                  |
|-------------------|------|----------------------------------|-----------------|------------------------|----|-----------------|------------------|------------------|--------------------------|----|----|----------------------------------|
|                   | 4月   | 5月                               | 6月              | 7月                     | 8月 | 9月              | 10月              | 11月              | 12月                      | 1月 | 2月 | 3月                               |
| 1 スクールリーダー研修講座の実施 |      |                                  |                 |                        |    |                 |                  |                  |                          |    |    |                                  |
| (1) 事業推進組織での協議    |      | 5/27<br>教員養成<br>等検討協<br>議会<br>協議 |                 |                        |    |                 |                  |                  | 11/29<br>推進委員<br>会<br>協議 |    |    | 3/22<br>教員養成<br>等検討協<br>議会<br>協議 |
| (2) 講座実施          |      | 5/17<br>要項<br>発表                 | 6/25<br>講座<br>Ⅰ |                        |    | 9/24<br>講座<br>Ⅱ | 10/29<br>講座<br>Ⅲ | 11/19<br>講座<br>Ⅳ |                          |    |    | 3/4<br>講座<br>Ⅴ                   |
| 2 山口大学との連携        |      | スクールリーダー研修<br>講座新規プログラム協同<br>作成  |                 | 研修講座(県本部会場)<br>共同企画・運営 |    |                 |                  |                  |                          |    |    |                                  |
|                   |      | 山口大学・県教委の継続協議                    |                 |                        |    |                 |                  |                  |                          |    |    |                                  |
| 3 その他の取組 報告書作成    |      |                                  |                 |                        |    |                 |                  |                  |                          |    |    | 意見取りまとめ・作成                       |

## 2 実践研究の全体像

### 【テーマ】

スクールリーダー研修講座プログラムの共同開発・共同実施による教職大学院と連携した管理職育成システムの確立

### 【研究内容】

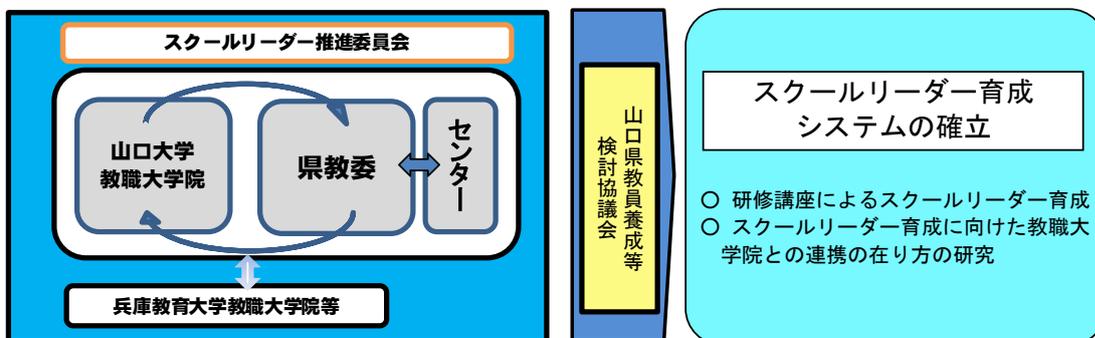
#### (1) スクールリーダー育成に向けた研修プログラムの実施

現在、県教委が山口大学や兵庫教育大学等と連携して実施しているスクールリーダー研修講座を継続・充実させ、中堅教員のスクールリーダーとして必要な資質能力の向上を図る継続的な育成システムを研究する。

#### (2) スクールリーダー育成に向けた山口大学教職大学院との連携の在り方

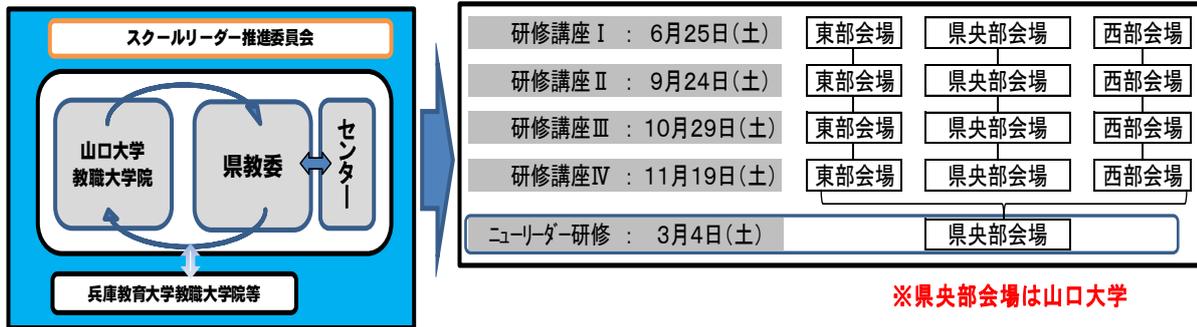
平成28年度に開設された山口大学教職大学院との連携をさらに進め、協働して学校運営の中核を担うスクールリーダーを育成していくシステムを構築していく。管理職に求められる資質能力の育成に向けた研修講座を立案・試行実施し、本県の実情を踏まえた効果的な研修受講者の募集や選抜の方法、研修内容、実施方法などについて検証する。

### 【事業の推進イメージ図】



### 3 スクールリーダー研修講座の改善・充実

平成26・27年度の取組を踏まえ、研修プログラムの改善・充実を図った。プログラムの作成・講座の運営に当たっては、山口大学教職大学院・兵庫教育大学教職大学院と連携し、進めて行った。



#### ■ 推進組織

| 「スクールリーダー研修講座推進委員会」 |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| 検討内容                | 研修講座プログラムの作成・研修講座実施           |
| 構成                  | 教職員課、やまぐち総合教育支援センター、山口大学教職大学院 |

平成26・27年度の取組を踏まえ、今年度の計画を立案

#### スクールリーダー研修講座の改善・拡充

##### ○受講対象者

- ・ 教頭候補者選考試験の今年度受験予定者だけでなく、受講を希望する中堅教員の参加を認める。  
⇒ 管理職受験予定者との協同的な学びによるスクールリーダーとしての意欲の向上  
女性管理職候補者育成

##### ○開設講座の拡充

- ・ 新たに「教育関係法規及び服務」の内容を追加
- ・ 国や県の教育政策の理解促進のため、講義「本県の教育課題と施策」の時間拡大（30分）

##### ○運営面の改善

- ・ 山口大学教職大学院派遣者の参画  
平成28年度から新たに現職教員を派遣した山口大学教職大学院との連携を進め、派遣教員が継続的に研修講座に参画する体制を構築していく。  
⇒ 研修の円滑な運営・内容の充実だけでなく、派遣教員のスクールリーダーとしての資質能力向上も図っていく。
- ・ 兵庫教育大学教職大学院派遣教員の一層の活用  
県が継続的に教員を派遣している兵庫教育大学教職大学院との連携を一層進め、派遣中教員や派遣OBが継続的に研修講座に参画する体制を構築する。
- ・ 県内3か所での実施の継続  
全県的な中堅教員の資質能力の向上を図るとともに、市町教育委員会の指導主事の積極的な参加を促し、市町教委の本研修への参画を進める。

- ・研修講座の土曜日開催を継続

受講者の自発的意志に基づく研修参加とするとともに、学校現場における教育活動への負担の軽減を図る。

## ○取組の方向性の確認

### スクールリーダー推進委員会

■ 日 時：平成28年11月29日（火）

場 所：山口大学

出席者：山口大学1人 山口県教委：2人

協議内容

- ・平成28年度の実施状況
- ・平成29年度の取組計画
- ※山口大学教職大学院と県教委の共同実施

### 教員養成等検討協議会

#### ■ 第1回

日 時：平成28年5月27日（金）

場 所：山口県庁

出席者 大学関係委員 10名、市町教委・学校関係委員 4名

協議事項等

- ・平成27年度検討協議会の協議概要について
- ・文部科学省委託事業「平成28年度総合的な教師力向上のための調査研究事業」を活用した取組について
- ※ スクールリーダー研修講座の実施について報告
- ・山口県教師力向上プログラムの充実について
- ・大学等との連携の強化による「山口県の教師塾」の充実について
- ・高校生のための教職セミナーについて

#### ■ 第2回

日 時 平成29年3月22日（水）

場 所 山口県庁

出席者 大学関係委員 11名、学校関係委員 3名

協議事項等

- ・文部科学省委託事業「平成28年度総合的な教師力向上のための調査研究事業」を活用した取組の実施状況等について
- ※ スクールリーダー研修講座の実施報告
- ・山口県教師力向上プログラムの成果の検証について
- ・「山口県の教師塾」の充実について
- ・教育公務員特例法の一部改正に伴う対応について
- ・山口県教育関係人材データベースの改訂について

## 4 研修講座実施

### ○実施要項

- 1 趣 旨 スクールリーダーとしての基礎的な資質能力を養うとともに、その職務の重要性に関する理解を深め、本県のスクールリーダーとして学校を牽引する意欲を高める。
- 2 主 催 山口県教育委員会
- 3 受講対象者  
学校運営に関する資質能力を身に付けたいと考えている教職経験10年以上の教員及び事務局等職員のうちの希望する者  
※ 昨年度受講した者も申し込むことはできるが、各会場の収容人数を上回った場合は、昨年度未受講者を優先して調整するため、受講できない場合がある。
- 4 受講人数 東部、県央部、西部の各会場合わせて450人程度
- 5 受講者の決定  
受講者は県教育委員会が決定し、所属長または市町教育委員会等を通じて本人に通知する。
- 6 研修期日及び会場

|       | 期 日       | 東部会場       | 県央部会場 | 西部会場      |
|-------|-----------|------------|-------|-----------|
| 研修講座Ⅰ | 6月25日(土)  | 周南総合庁舎     | 山口大学  | 菊川ふれあい会館  |
| 研修講座Ⅱ | 9月24日(土)  | 周東勤労青少年ホーム | 山口大学  | 菊川ふれあい会館  |
| 研修講座Ⅲ | 10月29日(土) | 柳井市文化福祉会館  | 山口大学  | 菊川ふれあい会館  |
| 研修講座Ⅳ | 11月19日(土) | 周南総合庁舎     | 山口大学  | 下関市教育センター |

※ニューリーダー研修3月4日(土)山口大学

- 7 講座内容 講義及び演習による研修
  - ・スクールリーダーとして必要な資質能力の向上に関すること
  - ・本県教育目標の達成に向け、スクールリーダーとして取り組むべきこと
  - ・スクールリーダーとしての意欲の向上に関すること
- 8 サービスの取扱い及び旅費  
研修日のサービスは、自主的な研修として扱い、旅費は支給しない。

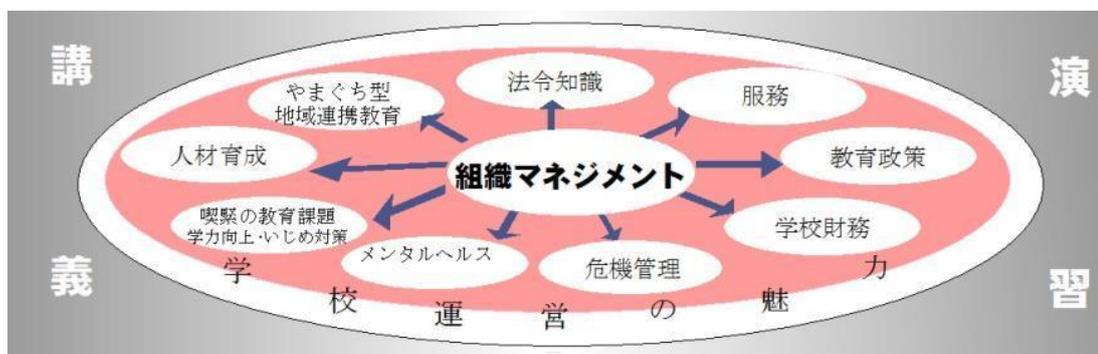
### 研修講座の内容等 \_\_\_\_\_は今年度変更点

|     | 日時                                     | 講座内容  | 講師等                             |
|-----|--|---|---------------------------------|
| I   | 6月25日(土)<br>10:00～16:30<br>※前年度より30分延長 | ○ 開講式<br>○ 本県の教育課題と施策<br>○ やまぐち型地域連携教育                              | ・県教委関係各課                        |
| II  | 9月24日(土)<br>10:00～16:30                | ○ 学校組織マネジメントの理論と実践  | ・兵庫教育大学教授等                      |
| III | 10月29日(土)<br>10:00～16:30               | ○ 組織的な学校運営におけるスクールリーダーの役割と魅力<br>○ 魅力ある学校運営                          | ・特色ある学校づくり・学校経営を展開しているスクールリーダー等 |
| IV  | 11月19日(土)<br>10:00～16:30               | ○ 学校のリスクマネジメント<br>○ 教育関係法規及びサービス ※新規<br>○ 学校のメンタルヘルスマネジメント<br>○ 閉講式 | ・県教委関係者<br>・山口大学教授等             |

## 【ニューリーダー研修】

|   | 日時                       | 講座内容  | 講師等   |
|---|--------------------------|---|---|
| V | 3月 4日 (土)<br>13:00～16:30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理職としての心構え</li> <li>○ 山口県教育の最新情報</li> <li>○ 管理職のリーダーシップ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県教委</li> <li>・ 兵庫教育大学教授</li> </ul> |

### 研修講座内容のイメージ図



### ○ 受講申込者数 (人) ( ) 内は平成27年度の人数

| 希望者校種 | 小学校          | 中学校          | 高等学校等      | 合計           |
|-------|--------------|--------------|------------|--------------|
| 人数    | 175<br>(220) | 130<br>(147) | 37<br>(24) | 342<br>(391) |

### ○ 各講座受講者数 (人) ( ) 内は平成27年度の人数

|             | 東部会場      | 県央部会場     | 西部会場      | 合計        |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 研修講座Ⅰ       | 113 (113) | 99 (130)  | 91 (95)   | 303 (338) |
| 研修講座Ⅱ       | 117 (122) | 95 (137)  | 78 (92)   | 290 (351) |
| 研修講座Ⅲ       | 107 (101) | 105 (121) | 70 (90)   | 282 (312) |
| 研修講座Ⅳ       | 122 (106) | 99 (135)  | 82 (82)   | 303 (323) |
| ニューリーダー研修講座 | 山口大会場     |           | 121 (117) |           |



東部会場 (研修講座Ⅰの様子)



県央部会場 (研修講座Ⅱの様子)



西部会場 (研修講座Ⅳの様子)

○ 平成28年度 スクールリーダー研修講座概要

|             | 東部会場  | 県央部会場   | 西部会場  |                                 |
|-------------|---|---|---|---------------------------------|
|             | 学校運営に関する資質能力を身につけたいと考えている教職経験10年以上の教員<br>小学校籍175人(220人)、中学校籍130人(147人)、<br>高等学校籍37人(24人)<br>計342人(391人)     |   |   | ( )内は<br>H27年度の人数               |
|             |   |   |   | 上段: 講座内容<br>下段: 講師等             |
| 6月25日(土)    | 本県の教育課題と施策<br>県教育委員会<br>地域連携 熟議<br>県教育委員会<br>113人(113人)   | 本県の教育課題と施策<br>県教育委員会<br>地域連携 熟議<br>県教育委員会<br>99人(130人)  | 本県の教育課題と施策<br>県教育委員会<br>地域連携 熟議<br>県教育委員会<br>91人(95人)   | 山口県教育の特色<br>と喫緊の課題              |
| 9月24日(土)    | 学校組織マネジメント<br>学校ビジョンの整理演習<br>浅野教授(兵庫教育大学)<br>117人(122人)   | 学校組織マネジメント<br>学校ビジョンの整理演習<br>大野教授(兵庫教育大学)<br>95人(137人)  | 学校組織マネジメント<br>学校ビジョンの整理演習<br>棚野教授(岐阜大学)<br>78人(92人)   | 組織的な学校運営<br>学校を分析する視点           |
| 10月29日(土)   | 学校の現状分析 協議<br>ファシリテーター 大学院派遣者<br>魅力ある学校運営<br>現職校長<br>スクールリーダーの役割と魅力<br>昨年度スクールリーダー研修を受講した新任教頭<br>107人(101人) | 学校の現状分析 協議<br>ファシリテーター 大学院派遣者<br>魅力ある学校運営<br>現職校長<br>スクールリーダーの役割と魅力<br>昨年度スクールリーダー研修を受講した新任教頭<br>105人(121人) | 学校の現状分析 協議<br>ファシリテーター 大学院派遣者<br>魅力ある学校運営<br>現職校長<br>スクールリーダーの役割と魅力<br>昨年度スクールリーダー研修を受講した新任教頭<br>70人(90人) | スクールリーダーとしての<br>役割の認識と意欲の高<br>揚 |
| 11月19日(土)   | 学校のリスクマネジメント<br>県教育委員会<br>教育関係法規及び服務<br>県教育委員会<br>学校のメンタルヘルスマネジメント<br>県教育委員会<br>122人(106人)                  | 学校のリスクマネジメント<br>県教育委員会<br>教育関係法規及び服務<br>県教育委員会<br>学校のメンタルヘルスマネジメント<br>静屋教授(山口大学)<br>99人(135人)               | 学校のリスクマネジメント<br>県教育委員会<br>教育関係法規及び服務<br>県教育委員会<br>学校のメンタルヘルスマネジメント<br>県教育委員会<br>82人(82人)                  | 学校課題に適切に対応するた<br>めのスキルアップ       |
| ニューリーダー研修講座 |   |   |   |                                 |
| 3月4日(土)     | 新任管理職に期待すること 講話<br>県教育委員会 教育次長<br>山口県教育の最新情報 講義<br>県教育委員会 教育政策課<br>管理職のリーダーシップ 講演<br>日渡教授(兵庫教育大学)           |   |   | 管理職に必要な資質能<br>力                 |

## ○ 研修講座実施状況

### 研修講座Ⅰ

#### 1 目的

- (1) 本県の教育行政の概要及び特色、喫緊の課題に関する理解を深める。
- (2) 社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支援する「やまぐち型地域連携教育」の取組についての理解を深める。

2 期日 平成28年6月25日(土) 10:00~16:30

#### 3 内容

(1) 講義：本県の教育課題と施策

10:10~12:00

①県の教育施策 ②人材育成・学力向上

②校教育 ④いじめ問題 ⑤学校安全

⑥食育 ⑦体力向上

13:00~13:30 ※前年度より30分拡大

⑧特別支援教育

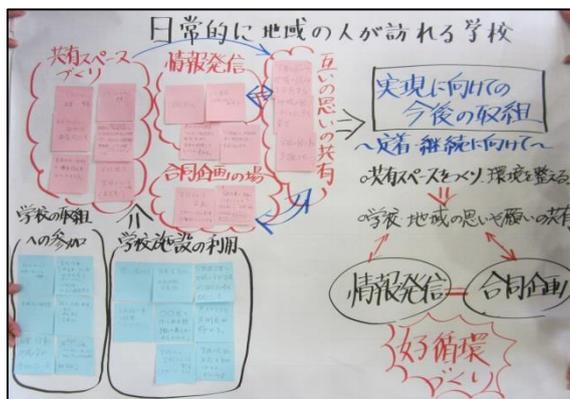
⑨学校評価・網紀保持

(2) 講義演習：「学校・家庭・地域の連携・協働」

講師：義務教育課、社会教育・文化財課

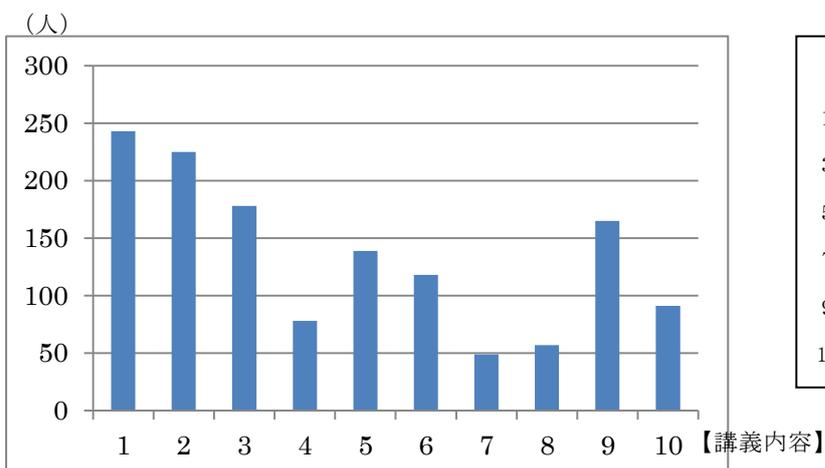
①講義：「やまぐち型地域連携教育」の推進について

②演習：熟議「日常的に地域の人を訪れる学校づくり」



研修講座アンケートから (回答者数300人)

■ 「本県の教育課題と施策」の講義で、あなたにとって今後の職務に役に立つと感じたものはどれですか。



#### 【講義内容】

- 1 本県の教育施策 2 人材育成
- 3 学力向上 4 特別支援教育
- 5 いじめ問題 6 学校安全
- 7 食育 8 体力向上
- 9 高校教育
- 10 学校評価・教職員の網紀保持

#### 4 受講者の感想

##### ■ 講義「本県の教育課題と施策について」

- ・ 現在自分が学校で取り組んでいることや推進していることが、県の施策と関連して、どれも大切であるということが具体的によくわかった。
- ・ 義務教育段階における学力向上をめざした取組等について理解が深まるとともに、高校教育では、これらを踏まえた教育活動を展開することが必要であると強く感じた。

##### ■ 講義・演習「地域と連携した教育」

- ・ 「やまぐち型地域連携教育」を推進することにより、地域が活性化してくることを実践の中で実感している。熟議は何度やっても新しい気づきがある。
- ・ 異校種でのグループ構成だったので、演習の場では視点がそれぞれ違って、よい刺激になった。
- ・ 学校を運営するという視点での研修で、身が引き締まる思いがした。学校のリーダーとして未熟な面を補い、現任校の課題解決のためにさらに努力していきたいと思う。

## 研修講座Ⅱ

### 1 目的

- (1) 学校組織マネジメントの概要について理解する。
- (2) 学校の現状分析、学校ビジョンの構築方法について理解する。

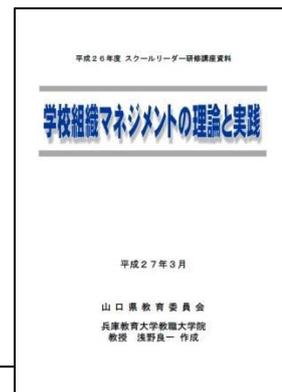
2 期日 平成28年9月24日(土) 10:00~16:30

### 3 内容

- (1) 講義：学校組織マネジメントの概要
- (2) 講義・演習：SWOT分析、我が校のミッション探索

#### 【講師】

東部会場：兵庫教育大学教職大学院 教授 浅野良一  
県央部会場：兵庫教育大学教職大学院 教授 大野裕己  
西部会場：岐阜大学教職大学院 教授 棚野勝文

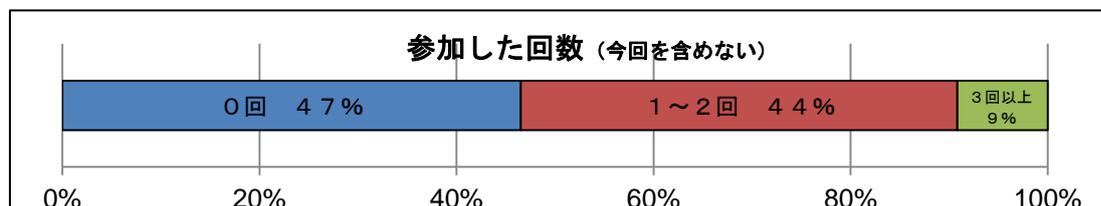


#### 資料目次

- 1 学校組織マネジメントの着眼点
- 2 学校のビジョンづくり
- 3 学校のビジョンの展開
- 4 学校の組織づくり
- 5 学校環境の分析
- 6 研修講座使用ワークシート

研修講座アンケートから（回答者数273人）

#### ■ 今回のようなSWOT分析の手法を活用する研修にこれまで参加されたことがありますか。



#### 4 受講者の感想

- ・ 「組織マネジメント」には難しいイメージがあったが、学校の現状分析等について経験や感覚に頼りがちな自分にとっては、明確な視点や具体的な方法をわかりやすく教えていただき、学ぶ楽しさを実感した研修であった。
- ・ 講義と演習のバランスがよく、研修に集中して取り組むことができた。
- ・ SWOT分析をしてみて、現任校を客観的にみることができた気がする。全教職員で分析を行い、アイデアを出し合い、教育活動の充実を図っていきたいと思う。
- ・ 他校種の方との意見交換がとても参考になった。新たな視点、気づきを多く見つけ出すことができた。
- ・ 演習を通して、スクールリーダーとして活力ある学校づくり、学校教育目標の達成に向けて、今まで以上に組織力を活かす、組織として動く、若手とともに伸びていくという意識で教育活動に取り組んでいこうという思いが強くなった。
- ・ SWOT分析の研修を何度か受講したが、今回また異なる視点で考えることができ、大変有意義であった。変化していく状況に合わせて、分析を継続して行っていくことが必要だと感じた。
- ・ リーダー的存在の教員だけでなく、教員一人ひとりが本日の研修内容のようなことを学ぶことができれば組織の活性化が図られ、学校の教育活動がよりよくなると感じた。

### 研修講座Ⅲ

#### 1 目的

- (1) 学校ビジョンに関する協議を通して、スクールリーダーとしての役割を考える。
- (2) 学校運営に関する講義、協議を通して、スクールリーダーとしての意欲を高める。

2 期日 平成28年10月29日(土) 10:00~16:30

#### 3 内容

- (1) 協議：学校のビジョンとスクールリーダーの役割

前回講座で学んだことを活かして作成した「学校ビジョン整理シート」を持ち寄り協議  
 ※ファシリテーター・・・兵庫教育大学派遣者・OB



【シートを持ち寄っての協議風景】

| スクールリーダー研修講座Ⅲに向けた学校ビジョンの整理   |   | 所属： | 氏名： | 受講会場：   | 会場  |    |
|--|---|-----|-----|---|---|----|
| <p>わが校の強み</p>  | <p>重点事項（中期的）</p> <p>ミッションを果たすために学校が取り組むべき事項</p> <p>○カリキュラムとリンクさせることで教育の充実につながる。</p> <p>○組織を変えるためという視点もあるが、基本は子どもの教育</p> |     |     | <p>年度努力事項（年度）</p> <p>わが校の重点事項の「めざす姿」と「現実」とのギャップを埋める</p> | <p>年度末評価指標</p> <p>具体的な教育活動</p> <p>達成について評価する指標。</p> | 備考 |
| <p>わが校の使命</p> <p>学校を取り巻く内外環境との関係で、学校の存在理由や存在価値を確固としたものにするために担うべき「核心的な役割」</p> <p>目的</p> | <p>例</p> <p>・よく遊び、よく学ぶ子を育てます（自学）</p> <p>・めあてを持ち、互いに鍛え合う子を育てます（自治）</p> <p>・工夫してつくり出す 心豊かな子を育てます（創造）</p> <p>目的/手段</p>     |     |     | <p>ためもの。</p> <p>目的/手段</p>                               |   |    |
| <p>わが校の弱み</p>  |   |     |     |   |   |    |

(2) 講義「特色ある学校づくりと組織的な学校運営」

組織的な学校運営を進めている校長による講義

(東部会場) 岩国市立川下中学校 校長 塚田 拓司

(県央部会場) 長門市立深川中学校 校長 濱野 泰則

(西部会場) 下関市立川中西小学校 校長 伊藤 豊



(3) 講義・協議「組織的な学校運営におけるスクールリーダーの役割と魅力」

本年度の小中高の新任教頭(昨年度スクールリーダー研修受講者)による実践発表及び協議

(東部会場) 小学校3部会・中学校2部会

(県央部会場) 小学校2部会・中学校2部会・高等学校1部会

(西部会場) 小学校2部会・中学校1部会



4 受講者の感想

■ 演習「学校のビジョンとスクールリーダーの役割」について

- ・ 校種の異なる参加者が、それぞれの立場で考えた学校ビジョンを持ち寄った協議は、多様な見方や考え方に触れることができ、大変有意義な演習であった。小中高特の連携を進め、課題意識を共有することの大切さを感じた。

■ 講義「特色ある学校づくりと組織的な学校運営」について

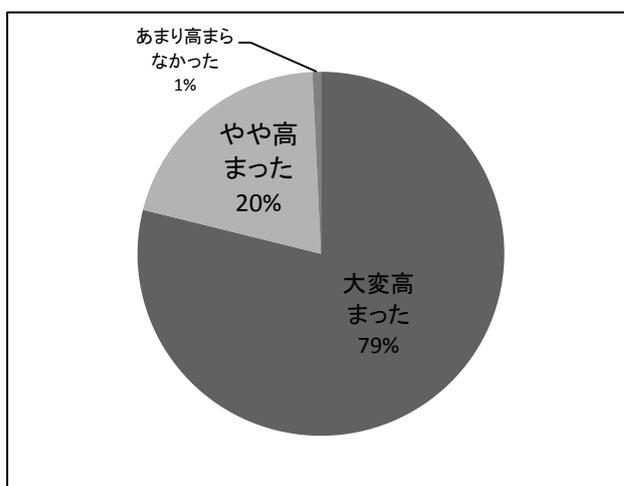
- ・ 校長先生の大変エネルギーあふれるお話を伺い、スクールリーダーとして、若手を育て、職場を変え、子どもを変えていくことに全力をあげていこうという思いが一層強くなった。

■ 講義・協議「組織的な学校運営におけるスクールリーダーの役割と魅力」について

- ・ 新任教頭としての現在の率直なお話を伺い、そのやりがいや責任の重さを実感できた。学校内の教職員の人間関係をつくり、組織としてつないでいく要となる教頭の役割は大きいことを学んだ。

研修講座アンケートから (回答者数270人)

- 現職校長・教頭による講義・協議により、スクールリーダーや管理職として、学校運営を進めることのやりがいや魅力が、高まりましたか。



## 研修講座Ⅳ

### 1 目的

- (1) 学校のリスクマネジメントについて理解を深める。
- (2) 教育関係法規及びサービスについて理解する。
- (3) 学校のメンタルヘルスマネジメントについて理解を深める。

2 期日 平成28年11月19日(土) 10:00～16:30

3 内容・講師 (2)は今年度新たに実施した内容

#### (1) 講義・演習「学校のリスクマネジメント」

講師 (東部会場) 学校安全・体育課 主査 松本 剛  
(県央部会場) 学校安全・体育課 主幹 秋川 茂  
(西部会場) 学校安全・体育課 教育調整監 宮村 和幸

#### 【講義】

- ① 山口県学校安全推進計画
- ② 学校安全推進プログラム
- ③ 学校のリスクマネジメント
  - ・学校の危機とは
  - ・危機管理の3段階  
「リスクマネジメント・クライシスマネジメント・再発防止」
  - ・危機の未然防止
  - ・学校危機の対応

#### 【演習】 学校における危機対応

「個人で初期対応を考える」⇒「グループで初動を考える」⇒「事案の解決を考える」⇒  
講師による解説

- ① 不審者侵入
- ② 食物アレルギー事故
- ③ いじめ
- ④ 児童虐待
- ⑤ 爆破予告



#### (2) 講義・演習「教育関係法規及びサービス」

講師 (東部会場) 教職員課 主査 河村 圭  
(県央部会場) 教職員課 教育調整監 徳田 充  
(西部会場) 教職員課 主査 岩井 康浩

#### 【講義・演習】

- ① いろいろな学校実務の法的根拠
- ② 法規の呼び方・読み方
- ③ 法令用語の使い方

#### (3) 講義・演習「学校のメンタルヘルスマネジメント」

講師 (東部会場) 教職員課 教育調整監 大塚 泰二  
(県央部会場) 山口大学 教授 静屋 智  
(西部会場) 義務教育課 主査 小野 晃子



### 【講義】

- ① メンタルヘルスに関する現状（公立学校教職員の人事行政状況調査から）
- ② 山口県教育委員会が実施しているメンタルヘルス対策

### 【講義・演習】 コーチング

#### 4 受講者の感想

##### ■ 講義・演習「学校のリスクマネジメント」について

- ・ 改めて平常時の危機管理が大切であると感じた。講義・演習を通して、「まさか」からの脱却、そのための研修の大切さを実感した。

##### ■ 講義・演習「教育関係法規及びサービス」について

- ・ 教育活動はもちろん、学校のあらゆる活動が、法に基づいて動いていることを認識できた。法的根拠をもって様々なことを考える意識をもちたい。
- ・ 法令用語の使い方などもう少し時間をかけて学びたいと感じた。

##### ■ 講義・演習「学校のメンタルヘルスマネジメント」について

- ・ 自分を含め教職員が心身ともに健康で意欲をもって職務に取り組むことは、生徒にとっても大きな効果をもつ。若手教員の育成を含め、コーチングの手法を頭に入れ、お互いに良いコミュニケーションをとることのできる職場をつくっていきたい。

## 研修講座Ⅴ（ニューリーダー研修講座）

### 1 目的

管理職としての基礎的な資質能力を高めるとともに、その職責の重要性に関する理解を一層深め、本県のニューリーダーとして学校を牽引する意欲を高める。

### 2 期日 平成29年3月4日（土） 13:00～16:30

### 3 対象者

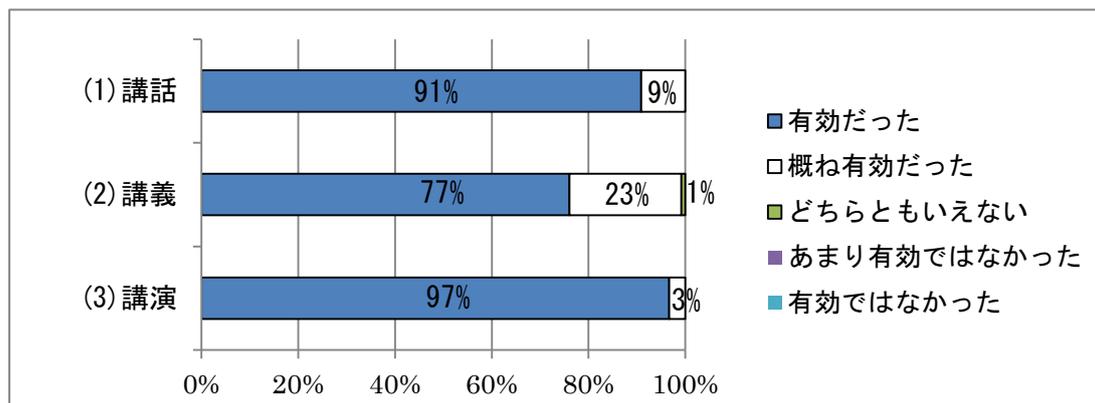
平成29年度教頭候補者名簿登載者

### 4 内容

- (1) 講話「新任管理職に期待すること」 教育次長 廣川 晋
- (2) 講話「山口県教育の最新情報」 教育政策課 主幹 縄田 浩之
- (3) 講義「管理職のリーダーシップについて」  
講師 兵庫教育大学 教授 日渡 円

#### 研修講座アンケートから（回答者数121人）

##### ■ 各研修講座は、自身の資質向上にどの程度有効であったと思いますか



## 5 受講者の感想

- 講話「新任管理職に期待すること」
  - ・ 人を大切にするとともに、「子どもたちにとって何が大切なのか」を常に意識し、教頭の職務をしっかりと行っていこうという思いを強くした。
  - ・ 管理職の役割は「部下を通して成果を出すこと」という言葉が印象に残った。先生方の心に火をつけることができるよう精進したい。
  - ・ 管理職としての心構えについて拝聴し、身が引き締まる思いであった。「意識的に明るく元気にふるまう」「逃げずに解決に向け全力を尽くす」という言葉を具現化していきたいと思う。
- 講義「山口県教育の最新情報」
  - ・ 教育行政の視点から学校教育の在り方を考えることができ、大変参考になった。一つ一つの施策の重みを痛感した。
  - ・ 予算の組み方など、これまであまり触れることのなかった内容について学び、非常に新鮮であった。高齢化や若者の県外流出などの課題に対して、地域や家庭と学校が連携することで改善していかなければという思いを強くした。
- 講演「管理職のリーダーシップについて」
  - ・ 受講者に問いかけながら、そのやりとりを通して、伝えたいことに気づかせていくといった形式の講義で、大変刺激的であった。どんな学校をつかっていきたいか、残りの期間で学び直し、明確なビジョンをもって学校に着任しようと思う。
  - ・ 管理職の意識への転換をあと3週間で行わなくてはならないという危機感を強く覚えた。教員を動かす、学校を動かすということは頭ではわかっていたつもりであったが、先生の質問に答えられない自分自身に、歯がゆさを感じた。「新学習指導要領の最初の教頭」であるという自覚をもち、しっかりと語れる教頭となれるよう、自分自身をまず鍛えなければと強く思った。

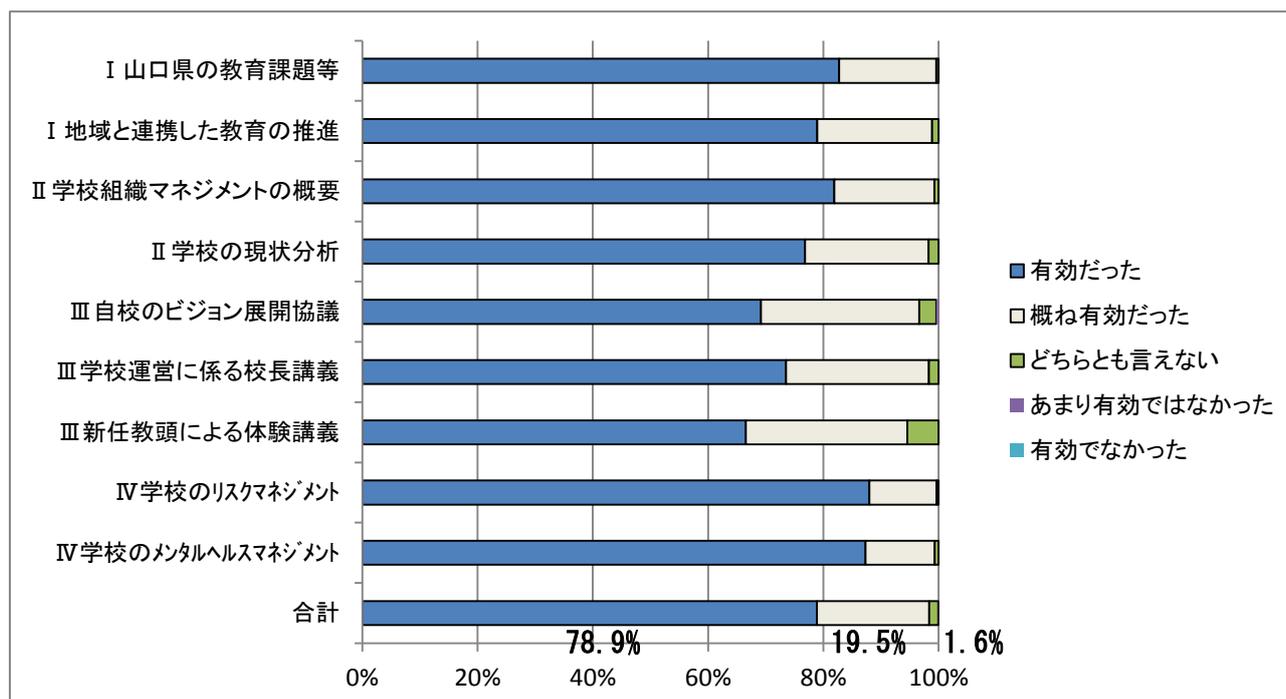
## 5 研修講座の評価

※受講者アンケートから

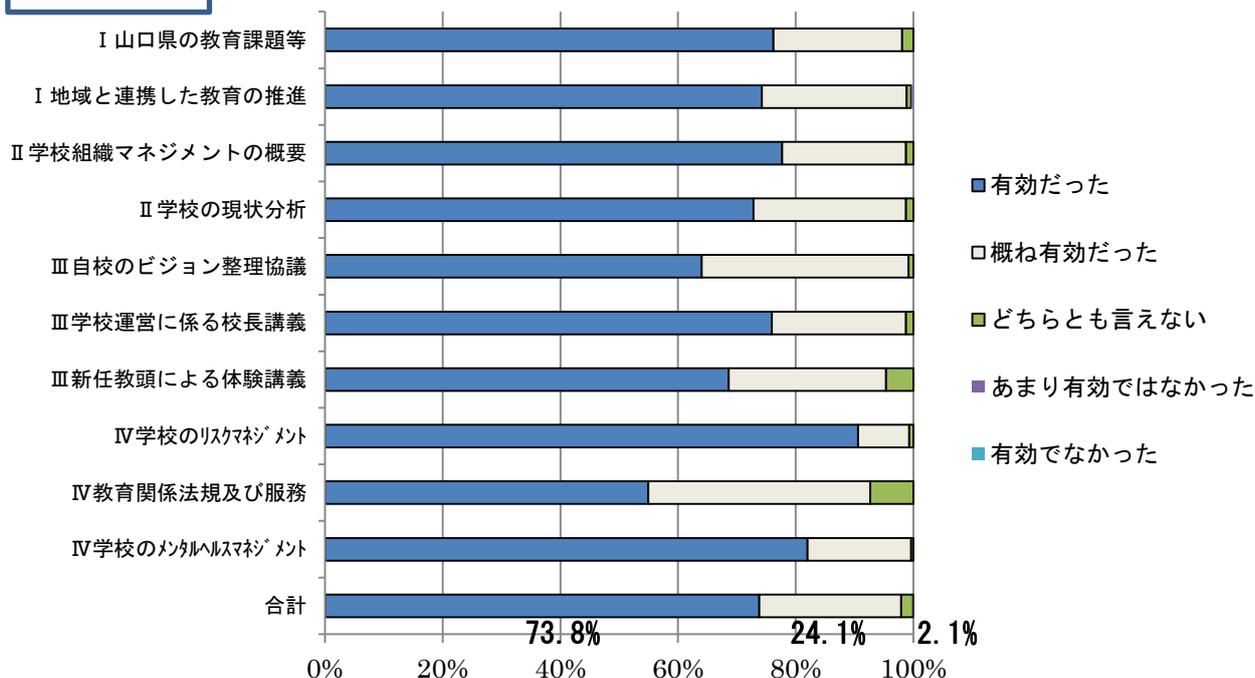
### ■ 今回の各研修講座は、自身の資質向上にどの程度有効であったと思いますか。

(平成27年11月実施 回答者数313人、平成28年11月実施 回答者数303人)

平成27年度



平成 28 年度

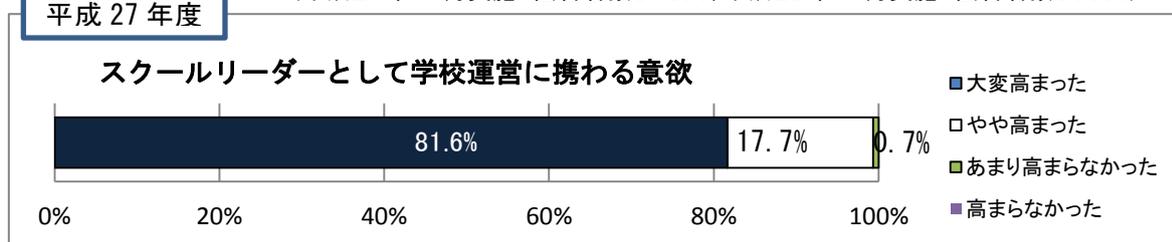


- 全4回のスクールリーダー研修講座終了時(平成28年11月)に実施した受講者アンケートでは、「本研修講座が有効又は概ね有効だった」とする者が昨年度同様、約98%を占めており、講座の有効性が確認された。
- 今年度新たに実施した教育関係法規及びサービスについては、肯定的評価が約93%で、受講者のニーズに応えることができた。しかし、受講後の感想の中には「30分では講義の時間が短い。もっと深く学びたかった。」という意見もみられ、「有効だった」とする者の割合は、他に比べやや低かった。  
※ 法令知識に関する内容について、やまぐち総合教育支援センターの講座『スキルアップ研修「基礎から学ぶ教育関係法規研修講座」(平成 29年1月実施)』を紹介。
- 平成27年度から実施しているリスクマネジメント、メンタルヘルスマネジメントの講座については本年度も高い評価を得ている。受講後の感想からも、危機管理、教職員が働きやすい環境づくりに対する受講者の意識の高まりをうかがうことができ、有効性が確認された。

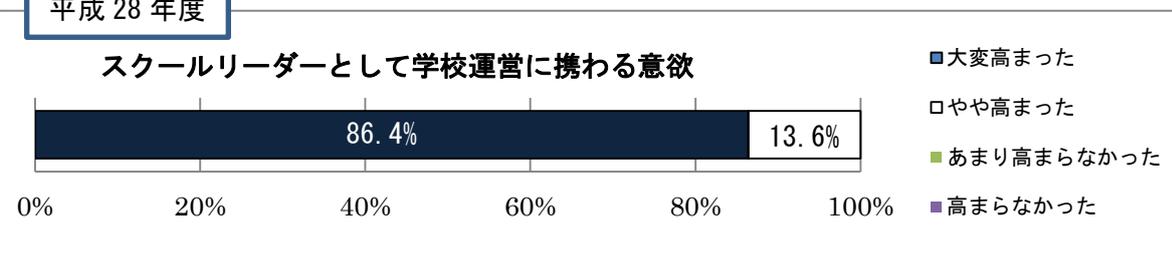
■ 本研修講座を受講して、スクールリーダーとして学校運営に携わる意欲が高まりましたか。

平成 27 年度

(平成27年11月実施 回答者数313人、平成28年11月実施 回答者数303人)



平成 28 年度



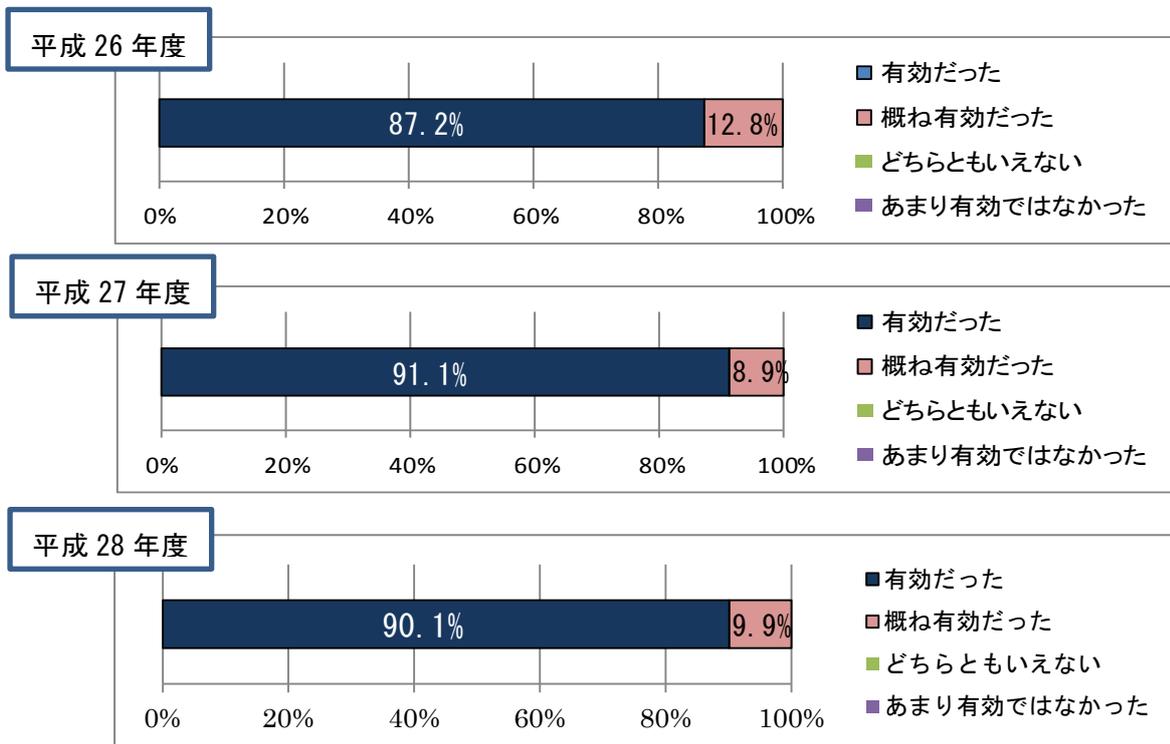
■本研修講座の受講は、あなた自身の資質能力の向上にどのように役立ったと考えますか。

- ・ 学校運営に関する視野が広まった。自分の役割や責任を明確にでき、今後の取組について大きな指針を得た。これから人材育成に力を入れたいと思う。
- ・ どの回もとても盛りだくさんの内容で、自分の未熟さを感じながらも、自分自身のスキルアップに大いに役立った。刺激的で充実した研修であった。
- ・ 演習が多く取り入れられていたので、体験的に深く理解することができた。
- ・ 組織ということが大変意識するようになった。組織の一員として、組織のリーダーとして何ができるのか、常に考え行動するようになったことが大きく変わったところである。
- ・ 自分の業務のみの狭い視野で日々過ごしていたことを知るとともに、学校が多くの支えがあってこそ子どもたちにとって充実した学習環境になることを理解することができた。分析的な目をもって、学校の強みや弱みを把握しながら、必要なつながりを構築していくこと、子どもたちの命をあずかるという責任の重さを忘れず、日頃からリスクマネジメントに取り組むことなど、学校全体を見据え、今後自分がしなければならないことを学ぶことができた。

○ 研修講座後のアンケートでは、今年度受講者全員が「スクールリーダーとして学校運営に携わる意欲が高まった」と回答しており、意識改革につながる研修として、本講座の有効性が確認された。

■スクールリーダー研修講座は、管理職として着任するあなたにとってどの程度有効でしたか。

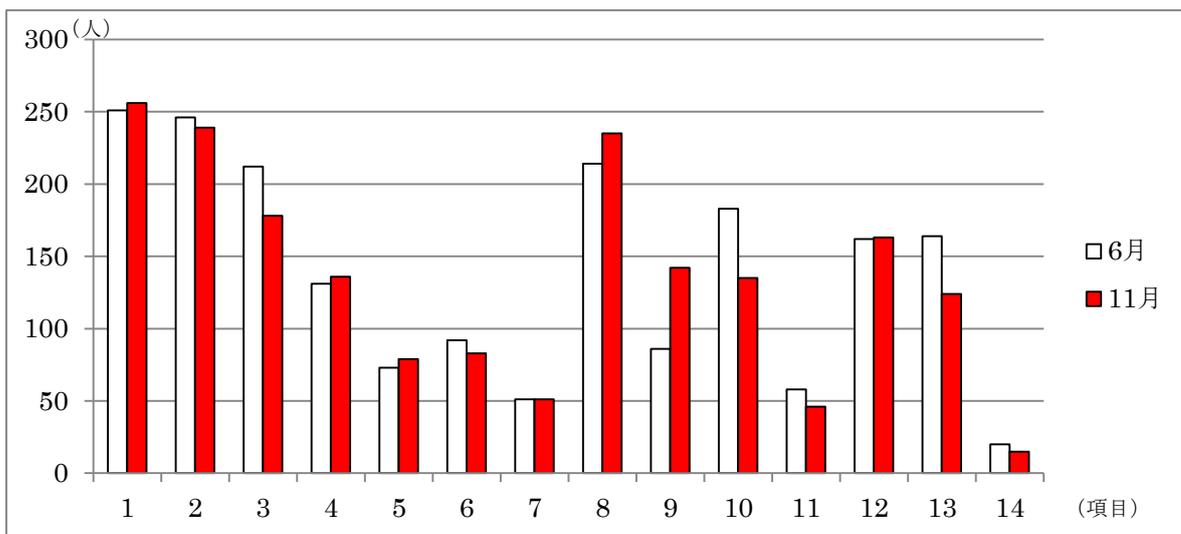
(平成27年2月実施 回答者数149人、平成28年2月実施 回答者数90人、平成29年2月実施 回答者数81人)



○ 教頭選考試験の名簿登載者を対象としたニューリーダー研修講座後のアンケートでは、受講者全員が「管理職として着任する自分にとって、スクールリーダー研修講座は有効であった」と肯定的に回答しており、管理職になる前のこの時期に学校運営に関する資質能力を伸ばす本研修を受講することは、得るものが多く、大変意義があるものであるということが検証された。

【講座内容に関するニーズについて】

■ あなたにとって、スクールリーダーとして学校を牽引していくにあたり、必要性が高いと思われるものはどれですか。(平成28年6月回答者数303人、平成28年11月回答者数303人)



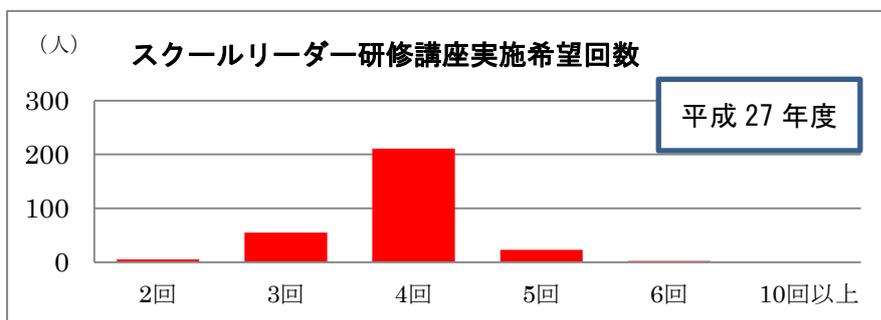
【項目】

- |              |           |               |              |
|--------------|-----------|---------------|--------------|
| 1 学校組織マネジメント | 2 人材育成    | 3 やまぐち型地域連携教育 | 4 法令知識       |
| 5 サービス       | 6 教育政策    | 7 学校財務        | 8 危機管理       |
| 9 メンタルヘルス    | 10 学力向上対策 | 11 体力向上対策     | 12 いじめ・不登校対策 |
| 13 特別支援教育    |           |               |              |

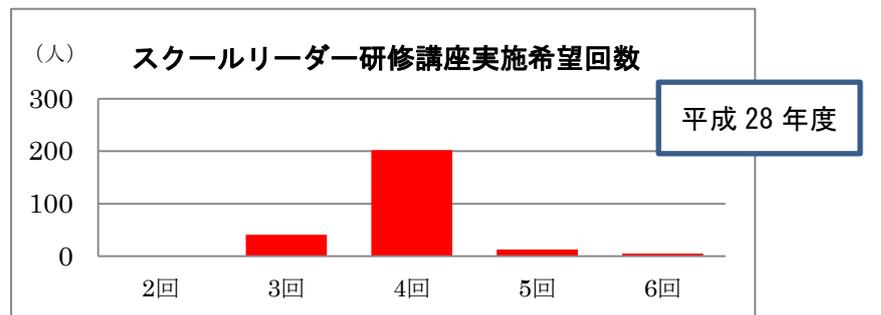
- 本研修講座で重視している学校組織マネジメントのポイントが最も高く、受講者のニーズと合致している。次いで人材育成、危機管理、地域連携(やまぐち型地域連携教育)のニーズが高い。
- 11月アンケート結果では、6月と比べ「メンタルヘルス」の項目のポイントが高くなっている。講座受講を通して、その重要性に気づき、研修で学んだ「コーチング」の理論を生かして勤務環境の改善を図ってきたいという意識が高まったことがうかがえる。

【講座実施回数について】

■ 年間に何回程度が適当だと思いますか。



平成27年11月実施  
 ※ 回答者数323人  
 ※ ニューリーダー研修(1回)を含まず。



平成28年11月実施  
 ※ 回答者数303人  
 ※ ニューリーダー研修(1回)を含まず。

## 6 研修講座についての考察

### 1 対象者及び募集方法

「学校運営に関する資質能力を身に付けたいと考えている教職経験10年以上の教員及び事務局等職員のうちの希望する者」を対象として実施した。昨年度受講していない者を優先とし、管理職選考試験を受験する者だけでなく、幅広く中堅教員の受講者を募集。研修講座後のアンケートでは、今年度受講者全員が「スクールリーダーとして学校運営に携わる意欲が高まった」と回答しており、管理職選考試験を受験する者のみならず、将来、管理職となることが期待される中堅教員においても、学校運営について主体的に学ぶよい機会として、その意識を高めることができた。

また、募集するに当たり、各種会議において市町教委や校長等に女性の積極的な受講について依頼した。全受講者に対する女性の割合は、平成26年度は約17%、平成27年度は約26%、平成28年度は約28%と年々高くなってきており、本研修講座が女性管理職育成に向けた研修の機会となっている。

### 2 実施時期

第1回目の研修講座を6月に実施した（平成26年度は9月スタート）。第1回目は「本県の教育課題と施策」に関する研修であり、この早い時期に詳細な説明を県教委から直接受け、各施策の本質的な理解を図ることは、受講者のスクールリーダーとしての具体的な取組の推進、学校の課題解決に向けた意識の高揚において有効であった。

第2回目は9月に実施したが、運動会等、学校行事と重なり参加できない受講者もいるため、できれば8月末に実施することが望ましい。

### 3 実施回数

受講希望者全員を対象としたスクールリーダー研修講座については、平成26年度には年3回、平成27、28年度には年4回実施した。この実施回数は、受講者のニーズとも合致しており、ニューリーダー研修講座を含め、年5回の実施が適当であると考えられる。

### 4 研修内容・方法

- ・ 理論と実践を合わせた研修とすることで、理解が深まった。
- ・ 校種別のグループ編成とはせず、混合のグループにより協議を行ったことで、各研修講座の感想にもあるように、異校種理解が進み、スクールリーダーとして校種間連携を積極的に推進していこうという意識を高めることができた。
- ・ 中堅層の教員に対して県教委の施策を説明する貴重な機会となった。教育振興基本計画等の施策体系を理解した上で、日常の教育活動を進めることの重要性を受講者に意識させることができた。
- ・ 本研修講座においては、「学校組織マネジメント」を一つの柱として考えており、研修講座Ⅱでは、SWOT分析について学ぶ講義・演習を実施した。さらに、研修後自校に戻って実際に、「学校ビジョンの整理」シートを作成し、研修講座Ⅲでそのシートを持ち寄り、協議を行った。3年間同じ形式で実施したが、研修講座での学びを、自校の改善に生かし、さらにその成果を次の研修につなげる研修方法は非常に有効であった。
- ・ 新任教頭による実践発表は、管理職の魅力・やりがいを伝え、意欲の高揚を図るには非常

に有効な方法である。今年度の講師は、昨年度研修講座を受講して管理職となった者が務めたが、受講者にとっては、将来の自分の姿を重ね合わせて話を聞くことができるとともに、講師にとっても初心に戻り、自らの実践を振り返るよい機会となった。前年度の受講者が今年度の講師を務めるといふこの循環型の研修は、双方にとって大きなメリットがあった。

- ・ 今年度新たに実施した「教育関係法規及び服務」については、概ね、受講者のニーズとも合致しており、これらについて理解を深めていくことの必要性を認識させることができた。しかし、時間が短かったこともあり「もう少し深く学びたかった。」という意見もみられた。日程や受講者の希望実施回数等を考慮すると、今年度以上、実施回数を増やすことは難しい。より有効な研修となるよう講座内容や日程の見直しを行うとともに、やまぐち総合教育支援センターの研修等とリンクさせた取組を進めていくことが重要である。
- ・ ニューリーダー研修講座は、管理職としての意識を高める上で、大変有効であった。

## 5 実施体制

研修講座は本県の実情に合わせ、県内の3会場で実施した。県東部及び県西部の会場の確保等においては、市町教育委員会の協力を得た。本研修講座は全て土曜日開催の自主研修として実施していることもあり、この実施方法は受講者の負担の軽減からも非常に有効であるが、講師や運営委員の確保、予算面での負担増などの課題がある。事業終了後については、ある程度受講者数を絞り込み、会場を1か所に集約しての実施等について検討していく必要がある。

## 7 スクールリーダー育成に向けた山口大学教職大学院等との連携の在り方

### スクールリーダー研修講座の企画・運営を通して、県教委と山口大学教職大学院等の連携体制を強化

【平成28年度スクールリーダー研修講座における連携の実際】

- 山口大学教職大学院・兵庫教育大学教職大学院と連携して研修プログラムを構築
  - ・ 山口大学教職大学院の教授が全ての研修講座に参画。研修講座Ⅲではファシリテーターとして、また、研修講座Ⅳでは「メンタルヘルスマネジメント」の講師として研修を受けもつ。
  - ・ 研修講座Ⅱでは、兵庫教育大学教職大学院の教授等を講師として、「学校組織マネジメント」の講義・演習を実施。
  - ・ 兵庫教育大学教職大学院派遣者及び派遣者OBが、スクールリーダー研修講座の運営委員を務めるとともに、研修講座Ⅲでは講師、ファシリテーターとして研修を受けもつ。
  - ・ ニューリーダー研修講座（第5回講座）の講師を兵庫教育大学教職大学院の教授が務め、講演を実施。
- 次年度以降の山口大学教職大学院との本講座の共同実施を見据え、ノウハウを共有
  - ・ 研修講座の3会場のうち県央部会場を山口大学に固定し、5回の研修講座を山口大学で実施。
  - ・ 山口大学教職大学院派遣者が、スクールリーダー研修講座の運営委員として、研修会の円滑な運営に努めるとともに、自身も研修講座に参加。

## 8 事業成果と課題

- 平成27年度に「リスクマネジメント」と「メンタルヘルスマネジメント」を、平成28年度に「教育関係法規」を追加したことにより、スクールリーダーとして学校運営に携わっていく上で必要な内容について幅広く学ぶ機会を提供することができた。
- 学校運営に関する資質能力を身に付けたいと考えている者を受講対象者としているため、研修意欲が非常に高く、互いに刺激し合い、スクールリーダーとしての意識向上につながった。
- 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教職員と一緒に演習を行うことで、校種を超えた多様な考え方に触れることができ、校種間連携の推進に向けた貴重な情報交換の場となった。
- 山口大学教職大学院と連携を図りながら、計画・立案、運営に取り組み、理論と実践を合わせた研修システムを構築し、充実させていくことができた。
- 兵庫教育大学教職大学院派遣者の研修成果を継続的に還元していくシステムを構築することができた。
- 山口大学教職大学院派遣者の参画により、運営を円滑に行うことができた。また、派遣者にとってもスクールリーダーとしての資質能力を高める上で貴重な情報を得る機会となった。
- 3年間にわたる現職教員を対象とした研修講座の試行実施を通して、スクールリーダーの育成に向けた山口大学との連携体制が構築された。
- 本事業終了後のスクールリーダー研修講座の継続実施に向け、県内3か所での実施については、1か所に集約することも含め、検討が必要である。

## 9 事業成果を踏まえた今後の方向性

様々な学校課題を解決するためには、力強いリーダーシップにより活力ある学校づくりを進めるとともに、教職員の資質能力の向上を図るための指導力、学校組織を効率的に機能させる優れたマネジメント力を発揮できる優秀な管理職を育成していくことが今後一層、重要となってくる。

また、本県では、管理職も大量退職期を迎えており、層の薄い中堅層を対象に、管理職として必要な能力の育成を目的とした研修を計画的に実施することが引き続き課題となっている。

そのため、今後もスクールリーダーの育成に向けて、本事業を通して得たノウハウを有効に活用していくとともに、これまでに構築された山口大学教職大学院等との連携体制をさらに充実させ、本研修講座を継続して実施していきたいと考えている。